

下関市立考古博物館年報 3

—平成9年度—

1998年刊



発刊にあたって

下関市立考古博物館の第3年次を終了するにあたり、当館の施設・展示・年次活動の概要などについてお届けします。

本館も3年次を経過して、年次活動もようやく定着してきた感があります。市民の皆様による館の利用活動・入館者数が増加傾向に転ずるなどの明るい内容が加わってきましたが、また開館以来懸案になっておりました館内展示環境の整備工事にも着手することができました。しかし本館をとりまく周囲の情況は、緊縮財政の折から決して楽観できるものではありません。館員一同気持をゆるめずに対処してゆく所存ですが、関係各位におかれましても、本年報の展示や活動の内容についてご指導・ご提言などお寄せいただきまして、本館の発展のためにお力を貸しくださいますようお願いする次第であります。

1998年3月

館長 小田 富士雄



目 次

| | | |
|----|----------------------|----|
| 1 | 沿革 | 1 |
| 2 | 遺跡公園等建設推進委員会組織 | 2 |
| 3 | 下関市立考古博物館の設置等に関する条例 | 3 |
| 4 | 下関市立考古博物館の観覧料等に関する規則 | 5 |
| 5 | 博物館建設事業費 | 7 |
| 6 | 基本構想 | 8 |
| 7 | 常設展示 | 11 |
| 8 | 屋外展示 | 16 |
| 9 | 館内の施設 | 17 |
| 10 | 管理運営 | 21 |
| | (1) 組織 | |
| | (2) 職員 | |
| | (3) 博物館協議会委員 | |
| | (4) 予算 | |
| 11 | 調査研究 | 22 |
| | (1) 先進地視察 | |
| | (2) 研究紀要 | |
| 12 | 展示 | 22 |
| 13 | 教育普及 | 23 |
| | (1) 講師派遣 | |
| | (2) 講演会 | |
| | (3) ワーキングミュージアム | |
| | (4) 博物館実習生の受け入れ | |
| | (5) 刊行物 | |
| | (6) 広報活動 | |
| 14 | 資料収集整備 | 26 |
| 15 | 資料の貸し出し | 26 |
| 16 | 入館者状況 | 27 |
| | (1) 月別入館者数 | |
| | (2) 都道府県別入館者数 | |
| | (3) 学校団体 | |
| | (4) 博物館施設使用団体 | |
| | (5) 行政視察団体 | |
| 17 | 購入図書 | 30 |
| 18 | 図書寄贈先一覧 | 31 |

1 沿革

- 平成2年 遺跡公園等建設推進調査委員会を設置
- 平成2年10月 第1回遺跡公園等建設推進委員会【概要説明・協議】
- 平成3年 3月 第2回遺跡公園等建設推進委員会
- 平成4年 1月 下関市考古資料館(仮称)の位置づけおよび活動について協議
遺跡公園等建設事業に伴う下関市考古資料館(仮称)建設事業計画決定
- 平成4年 2月 第3回遺跡公園等建設推進委員会
【下関市考古資料館(仮称)基本構想、展示計画について協議】
下関市考古資料館(仮称)展示基本設計委託協議会実施
- 平成4年 3月 第4回遺跡公園等建設推進委員会【展示基本計画業者の審査】
- 平成4年 4月 下関市考古資料館(仮称)展示基本計画業者を決定
- 平成4年 6月 第5回遺跡公園等建設推進委員会
【下関市考古資料館(仮称)建設ならびに展示基本計画について協議】
- 平成4年 8月 第6回遺跡公園等建設推進委員会
【下関市考古資料館(仮称)建設基本計画案、展示基本計画について協議】
第7回遺跡公園等建設推進委員会【展示構想に伴う建築実地設計について協議】
- 平成5年 3月 下関市考古資料館(仮称)建設開始
- 平成6年 6月 名称を「下関市立考古博物館」と決定
主体工事完了、展示資料の選定およびレプリカ・模型の製作開始
- 平成6年12月 下関市議会において下関市立考古博物館設置条例を可決
- 平成7年 3月 下関市立考古博物館完成
- 平成7年5月13日 下関市立考古博物館開館

2 遺跡公園等建設推進委員会組織

| | 氏 名 | 所 属 | 役 職 名 | 備 考 |
|-----|--------|--------------|--------|---------|
| 委員長 | 多賀 三郎 | 下関市教育委員会 | 教育長 | 平成2~3年度 |
| | 石川 啓 | 同 上 | 同上 | 平成4~6年度 |
| 委 員 | 横山 浩一 | 福岡市立博物館 | 館長 | 平成2~6年度 |
| | 金 閎 憲 | 天理大学 | 教授 | 同上 |
| | 佐原 真 | 国立歴史民俗博物館 | 副館長 | 同上 |
| | 毛利 正夫 | (財)日本博物館協会 | 専務理事 | 同上 |
| | 中島 恒雄 | 郷土の文化財を守る会 | 会長 | 同上 |
| | 山田 泰久 | 山口県教育委員会 | 文化課長 | 平成2~4年度 |
| | 小松 正憲 | 同 上 | 同上 | 平成5~6年度 |
| | 中村 徹也 | 山口県埋蔵文化財センター | 所長 | 平成2~6年度 |
| | 徳永 利孝 | 下関市立向井小学校 | 校長 | 平成2~3年度 |
| | 米崎 忠 | 下関市立向井小学校 | 校長 | 平成4~6年度 |
| | 福田 常雄 | 下関市立安岡中学校 | 教頭 | 平成2~3年度 |
| | 伴 恒雄 | 下関市立勝山中学校 | 教頭 | 平成4~6年度 |
| | 吉野 泰全 | 下関土木建築部 | 建築課長 | 平成2~5年度 |
| | 松田 和夫 | 同 上 | 同上 | 平成6年度 |
| | 万谷 智義 | 下関市都市開発部 | 公園緑地課長 | 平成2~4年度 |
| | 繩田 健一郎 | 同 上 | 同上 | 平成5~6年度 |
| | 田中 博 | 下関市土木建築部 | 道路課長 | 平成4~6年度 |
| | 三崎 成 | 下関市教育委員会 | 教育次長 | 平成2年度 |
| | 橋本 隆司 | 同 上 | 同上 | 平成3~4年度 |
| | 畠中 義治 | 同 上 | 同上 | 平成5~6年度 |

3 下関市立考古博物館の設置等に関する条例

(平成6年12月21日)
条例 第39号

改正 平成9年3月31日条例第39号

(設置)

第1条 市民の教育,学術及び文化の向上に資するため,博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき,次のとおり考古博物館を設置する。

| 名 称 | 位 置 |
|-----------|-----------------|
| 下関市立考古博物館 | 下関市大字綾羅木字岡454番地 |

(観覧料)

第2条 下関市立考古博物館(以下「考古博物館」という。)が展示する資料を観覧しようとする者は,別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第3条 考古博物館が展示し,又は保管している資料(以下「考古資料」という。)について,学術研究等のため熟覧,模写,模造又は撮影等をしようとする者は,下関市教育委員会(以下「委員会」という。)の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は,別表第2に定める特別観覧料を納付しなければならない。

(施設の使用)

第4条 委員会は,考古博物館の設置目的を達成するために必要があると認めるときは,運営に支障のない範囲で,講堂又は学習室の使用を許可することができる。

2 前項の許可を受けようとする者は,委員会規則の定めるところにより,許可の申請をしなければならない。
3 委員会は,第1項の許可(以下「使用許可」という。)に条件を付することができる。

(観覧料等の減免)

第5条 市長は,特別な理由があると認められるときは,第2条の観覧料及び第3条第2項の特別観覧料を減免することができる。

(観覧料等の不還付)

第6条 既納の観覧料及び特別観覧料は,還付しない。ただし,市長が特別な理由があると認めたときは,この限りでない。

(入館料及び使用許可の制限等)

第7条 委員会は、次の各号の一に該当する者に対しては、考古博物館への入館を拒み、又は考古博物館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公益を害し、又はそのおそれのある者
- (2) 考古資料、考古博物館の施設等をき損し、又はき損するおそれのある者
- (3) この条例又はこの条例に基づく規則に違反し、又はそのおそれのある者
- (4) 考古博物館の管理上支障があると認められる者

2 委員会は、使用許可を受けようとする者又は使用許可を受けた者が、次の各号の一に該当するときは、使用許可をせず、又は使用許可を取り消すことができる。

- (1) 前号各号の一に該当するとき。
- (2) 営利を目的とすると認められるとき。

(損害補償)

第8条 入館者は、その責めに帰すべき理由により、考古資料、考古博物館の施設等をき損し、滅失し、又は汚損した場合は、市長の定める損害の額を賠償しなければならない。

(考古博物館協議会)

第9条 法第20条の規定により、考古博物館に考古博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、委員10人以内をもって組織する。
- 3 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 協議会の組織及び運営に関する必要な事項は、委員会が定める。

(その他)

第10条 この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この条例は、市長の定める日から施行する。

（平成7年規則第27号で平成7年5月13日から施行）

附 則

（平成9年3月31日条例第48号）

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この条例は、平成10年4月1日から施行する。

別表第1

観 覧 料

| 区分 | | 1人1回につき | | |
|-------------|-----------|------------------|---------|---------|
| | | 一般 | 高校生・大学生 | 小学生・中学生 |
| 常設展示 観覧料 | 個人 | 200円 | 100円 | 50円 |
| | 団体(30名以上) | 160円 | 80円 | 40円 |
| 企画展示観覧料 | | 2,000円以内で市長が定める額 | | |

備考 1 常設展示観覧料とは、考古博物館が常時展示している考古資料の観覧料をいう。

2 企画展示観覧料とは、考古博物館が特別に企画し、展示する考古資料の観覧料をいう。

別表第2

特 别 観 覧 料

| 区分 | | | 考古資料1点につき | |
|--------|--------|--------------|-----------|--------|
| 熟 覧 | | | 1日 | 200円 |
| 模写、模造等 | | | 1日 | 1,010円 |
| 撮影 | モノクローム | 学術研究を目的とする場合 | 1回 | 150円 |
| | | 出版等収益を伴う場合 | 1回 | 1,510円 |
| | カラーラー | 学術研究を目的とする場合 | 1回 | 300円 |
| | | 出版等収益を伴う場合 | 1回 | 3,040円 |

備考 特別の事情によりこの表によりがたい場合は、市長が別に定める。

4 下関市立考古博物館の観覧料に関する規則

(平成7年4月25日)
(規則 第28号)

(目的)

第1条 この規則は、下関市立考古博物館の設置等に関する条例(平成6年条例第39号。以下「条例」という。)

第2条、第3条第2項、第5条及び第6条の規定による観覧料等の徴収、減免及び還付に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(観覧料等の徴収)

第2条 条例第2条の観覧料(以下「観覧料」という。)は、別に定める観覧券と引き換えに徴収する。

2 条例第3条の特別観覧料(以下「特別観覧料」という。)は、下関市教育委員会が交付する下関市立考古博物館特別観覧許可書と引き換えに徴収する。

(観覧料等の減免)

第3条 条例第5条の規定により観覧料及び特別観覧料(以下「観覧料等」という。)を減免することができ
る場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 老人保健法(昭和57年法律第80号)に基づく医療受給者証の交付を受けている者、精神薄弱者
福祉法(昭和35年法律第37号)に基づく療育手帳の交付を受けている者(付添人1人を含む。)、身体障害者
福祉法(昭和24年法律第283号)に基づく身体障害者手帳の交付を受けている者(障害
の程度が1級から4級までの者については、付添人1人を含む。)又は戦傷病者特別援護法(昭和38
年法律第168号)に基づく戦傷病者手帳の交付を受けている者のうち、当該手帳に記入されている
障害の程度が項症であるもの(特別項症から第4項症までの者については、付添人1人を含む。)が
観覧するとき。
全額

- (2) その他市長が特に必要と認めたとき。
そのつど市長が定める額

2 前項の観覧料等の減免を受けようとする者は、市長に下関市立考古博物館観覧料減免申請書(第1号
様式)又は下関市立考古博物館特別観覧料減免申請書(第2号様式)を提出しなければならない。ただし、前項第1号に該当する者は、医療受給者証又は当該手帳を提出することによって観覧することができる。

(観覧料等の還付)

第4条 条例第6条ただし書の規定により観覧料等を還付することが出来る場合及びその額は、次のとおりと
する。

- (1) 天災その他不可抗力により、観覧又は特別観覧(条例第3条第1項の熟覧、模写、模造又は撮影 等を
いう。以下同じ。)ができなくなったとき。
全額

- (2) 考古博物館の修理、改築その他の管理上の理由により観覧又は特別観覧ができなくなったとき。
全額

2 観覧料等の還付を受けようとする者は、下関市立考古博物館観覧料等還付申請書(第3号様式)により申
請しなければならない。

(その他)

第5条 この規則に定めるもののほか、観覧料等に関する必要な事項は、市長が定める。

附 則

この規則は、平成7年5月13日から施行する。

5 博物館建設事業費

| | | |
|----------------|--------------------------|---------------|
| 敷地面積 | 13,008.39 m ² | H3.3.27取得 |
| 延床面積 | 2,565.79 m ² | |
| 期　　間 | | H4～6年 3ヶ年継続事業 |
| | | |
| 館　　建　　設 | | 1,333,860千円 |
| 環　境　整　備 | | 228,412千円 |
| 用　地　取　得 | 495,775千円 □ | |
| 用　地　造　成 | 58,961千円 □ | 554,736千円 |
| 実　施　設　計 | 41,530千円 □ | |
| └博物館 | 32,136千円 □ | |
| └展示施設 | 9,394千円 □ | |
| 基　本　設　計 | 13,616千円 □ | 55,146千円 |
| 休　　憩　　所 | | 86,963千円 |
| 博物館備品 | | 60,000千円 |
| 取付道路 | | 118,965千円 |
| 建設推進委員会 事務費 | 2,382千円 □ 6,051千円 □ | 8,433千円 |
| 合　　計 | | 2,446,515千円 |

6 基本構想

1. 下関市立考古博物館の必要性

近代から現代に至るまでわが国の社会は、過去の歴史に例をみないほど激しく変化を遂げています。下関市においても著しい都市化の中にあって、多くの文化遺産が急速に失われつつあります。本市に残されている文化遺産の中には、私たちが日本の歴史を考えるうえで重要な価値をもつものが多くあります。本市の代表的な文化遺産のひとつである国指定の遺跡は、弥生時代2カ所、古墳時代1カ所、古代1カ所、近代2カ所の6カ所を数えます。これらの遺跡は本市の人口や面積を占める割合から、近隣の市町村より高く、本市のもつ歴史的特徴を物語っています。

なかでも、稲作を中心とする農耕文化を育んだ弥生時代は、伝統的な日本社会の基盤となり、現代に至りました。下関市においては山陰沿岸にほど近い綾羅木から安岡の低地や丘陵一帯に、弥生時代の集落跡が稠密に分布し、この中に史跡綾羅木郷遺跡、史跡梶栗浜遺跡、稗田地蔵堂遺跡など著名な遺跡が点在しています。さらに吉母浜遺跡、山口県指定史跡の中ノ浜遺跡、史跡土井ヶ浜遺跡などが北浦沿岸に連なっています。

やがていくつかの村を纏めた有力者が出現した古墳時代には、有力者を葬った前方後円墳、円形墳、方形墳とよばれるお墓が造られるようになりました。本市及び周辺地域において代表的な墳墓として知られる6基の前方後円墳は山陰沿岸に集中し、そのうち4基が安岡から綾羅木にかけて、他の2基は市内の生野町と北に隣接する豊浦町にあります。

特に、史跡綾羅木郷遺跡の立地する丘陵には若宮1号墳、上の山古墳、史跡仁馬山古墳が連なり、仁馬山古墳に隣接して植松古墳、上ヶ原古墳などの方形墳が造られました。

史跡綾羅木郷遺跡の南側を流れる綾羅木川流域の水田は、稲作農耕が本格的に開始される直前の縄文時代終末頃から小規模な水田が作られ、弥生時代から古墳時代にかけて耕作地は拡大し、古代に至り長府町に長門国府が置かれた頃、綾羅木の水田では条里制度が確立し、現代に踏襲されています。綾羅木の条里制が施工された頃、伊倉遺跡や秋根遺跡などこの地方を治めた役所が作られ大きな町として栄えました。

史跡綾羅木郷遺跡は、昭和40年(1965)秋から開始された珪砂の採掘工事で文化財の保護と産業開発のはざまの中で、市民、研究者、本市教育委員会が一体となって発掘調査を進め、同時に遺跡の保存を訴え続けました。このころ全国でも盛んに進められていた産業開発と文化財保護の問題が世論を沸かす中で、昭和44年3月11日にわが国では前例のない緊急の史跡指定が行われ、文化財保護法改正のきっかけともなり、全国の文化財保護行政の確立を促した遺跡であります。

2) 展示計画についての基本的な留意点について

- ・現代日本の起点となった弥生時代から古墳時代を中心に、下関市がはたした役割を分かりやすく展示する。
- ・弥生時代、古墳時代の理解をたすけるために、現代からタイムトンネルを通って過去に遡る展示を行う。
- ・展示の目的を達成するために、下関市内にとどまらず関連する資料を収集し、研究・展示を行う。
- ・21世紀に向けた考古博物館としてオーディオ、ビジュアル等の技術を導入し施設の充実を図る。
- ・展示の方法、設備について十分な配慮を行い、情報の収集・整備を行い市民への情報提供のために、ロビー、講堂、郷土学習室において利用を図る。
- ・展示は九州、瀬戸内、環日本海、朝鮮半島、中国など他地域との関わりを取り入れる。

◎常設展示

- ・将来の展示替えを考えて、さまざまな展示に対応できるよう部屋の設計を行う。
- ・展示替えが容易にできるように、できるだけ固定ケースや固定パネルは置かず、可能な限り室内に柱は設けない。

◎特別・企画展示

- ・特別展示、企画展示を開催しないときも、季節展示、体験展示等の場として使用できるような設計をする。

◎学習

- ・博物館見学に先だって、講堂において映像による導入を行う。また成人向けの講座、研究会を開催する。郷土学習室において体験学習や小規模な研究講座を開催する。さらに展示室においても、ワークシートやQ&Aの活用や体験的要素を取り入れた演出を行う。

◎屋外展示

- ・見学者の各時代の理解を容易にするため、多目的広場を中心とし、古墳時代、弥生時代のゾーンを明確にする。
- ・展示は整備の終了した史跡のうちから古墳の森の見学・学習、弥生の里（仮称）の遺跡確認調査及び見学のための動線を考慮し、学習する博物館（ワーキングミュージアム）の環境をつくる。

◎休憩施設

- ・史跡指定地の古墳の森には、屋外での見学と憩いの場所として利用するほか、駐車場に隣接して休憩施設ならびに洗面所を設置する。

3) 学習・研修施設センターとしての機能の充実

市民の学習・研究センターとしての機能を維持し、質の高い展示を発展させ、市民に充分な知的サービスを提供するために管理部門、学芸部門、調査部門の3部門を構成し、本館における研究を継続的に行う。

2. 目的

今や、経済大国に成長した我国は、人々の心にゆとりと潤いが求められています。そのためにも伝統的な我国の文化や文化遺産を正しく伝え、心ゆたかな市民生活を送るための環境の育成が急務であります。国を挙げて保存に取り組み、4半世紀を経た史跡綾羅木郷遺跡のもつ精神を子孫に伝え残すために、史跡に隣接して下関市立考古博物館を建設し、第2次世界大戦後に本格的に開始された埋蔵文化財の調査・研究の成果を下関市民のみならず全国の人々に公開、活用し、さらに本市の友好都市を含めた近隣諸国とも国際的な学術交流を図り、友好の輪を促進する必要があります。

そのためには、まず市民が参加する博物館として史跡指定地の古墳の森の見学、弥生の里（仮称）の遺構確認調査への参加、史跡の道の見学と関連づけ、博物館の屋外には体験学習のできる竪穴住居、古墳を復元するなど諸施設を設置し、来館した人達が積極的に参加し、楽しみながら学習する博物館（ワーキングミュージアム）を目指します。

ついで本市で行っている埋蔵文化財の発掘調査の推進にあわせて、本市との関わりのある地域の考古資料の収集・研究を行い、その成果を市民へ公開し、文化財に対する理解と啓蒙を深めていきたいと思います。

さらに史跡や博物館を一般市民の学習の場として提供するとともに、憩いとやすらぎの場として心ゆたかな潤いのある生活の場を提供し、また国内のみならず諸外国の弥生文化、古墳文化の研究をする人達へも研究の場を提供し、学術交流を深めていきたいと考えます。

3. 特色

下関市立考古博物館では、体験学習する博物館（ワーキングミュージアム）活動を通して、文化財への理解と啓蒙を図るために、次のような特色をそなえる。

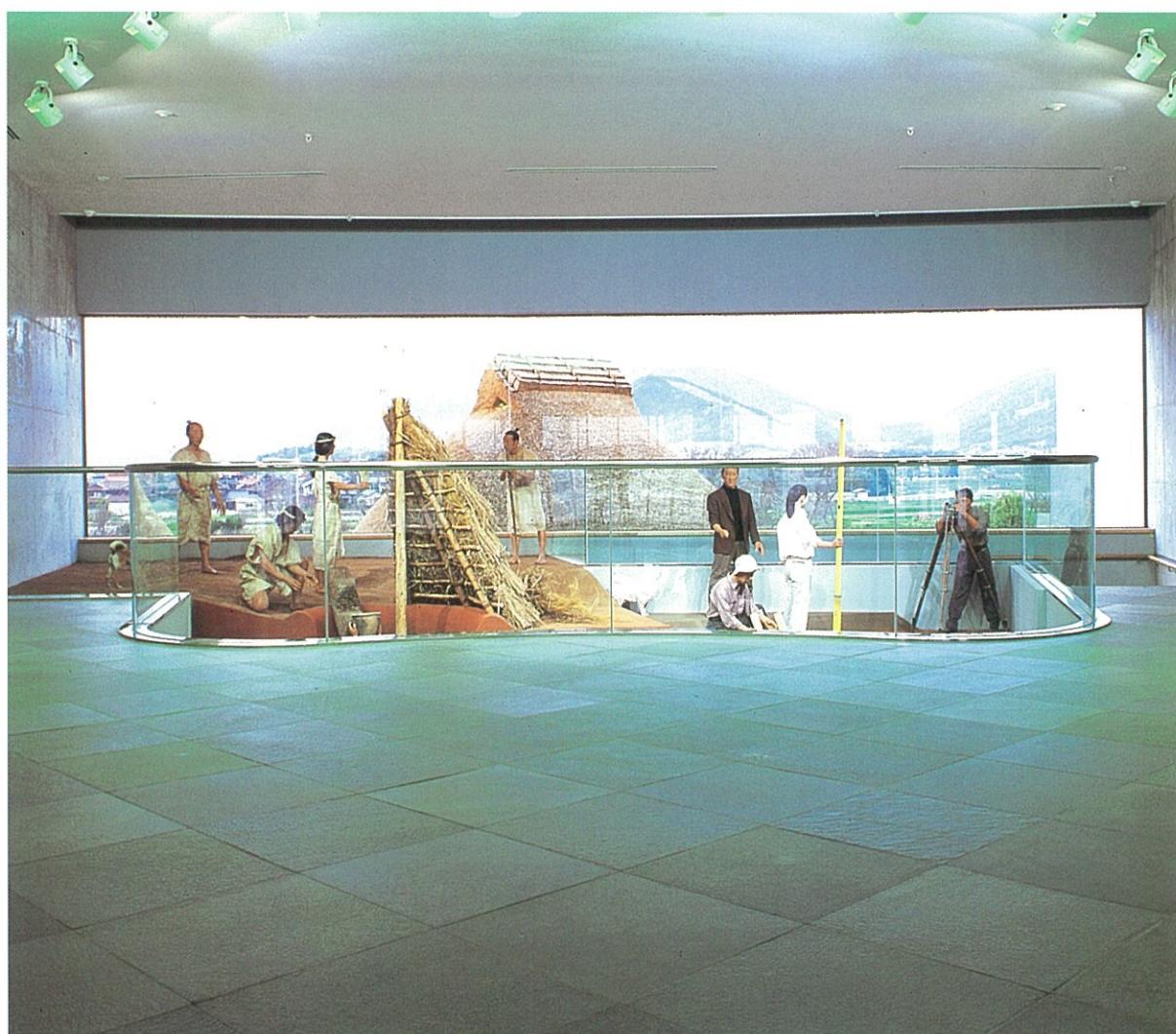
1) 建築についての留意点

- ・資料が良好な状態で保存できるようにする。
- ・来館者が気軽に入館できるようにする。
- ・来館者が見学しやすい構造、見学が終わった後に印象に残るような構造にする。
- ・展示は室内と屋外、史跡を一体とした構成にする。
- ・職員が使いやすい機能的な構造にする。
- ・資料の保存に影響のない空間では、外光（間接光）を十分取り入れ、明るい雰囲気をつくる。
- ・市民に開放され、情報を提供できるサービス機関として活用する。
- ・市民の学習の場として、施設、設備の整備、充実を行う。
- ・考古博物館の目的にかかわるイベントを開催する。

7 常設展示

エントランス

正面玄関を入るとエントランスになっており、原寸大の貯蔵用竪穴がジオラマによって再現されています。エントランスの左側では秋を迎えた弥生人の家族が、収穫した食べ物を貯蔵用竪穴に蓄えるために働いています。右側では現在(1965年頃)の考古学の研究者が弥生人の残した貯蔵用竪穴の発掘調査をしています。屋外には復元された竪穴住居があり、その後ろには弥生の里が広がり、はるか彼方には龍王山がそびえています。



監修 人物 九州大学 名誉教授 永井 昌文
衣装 大阪外国語大学 助教授 武田佐知子
犬 奈良国立文化財研究所 松井 章

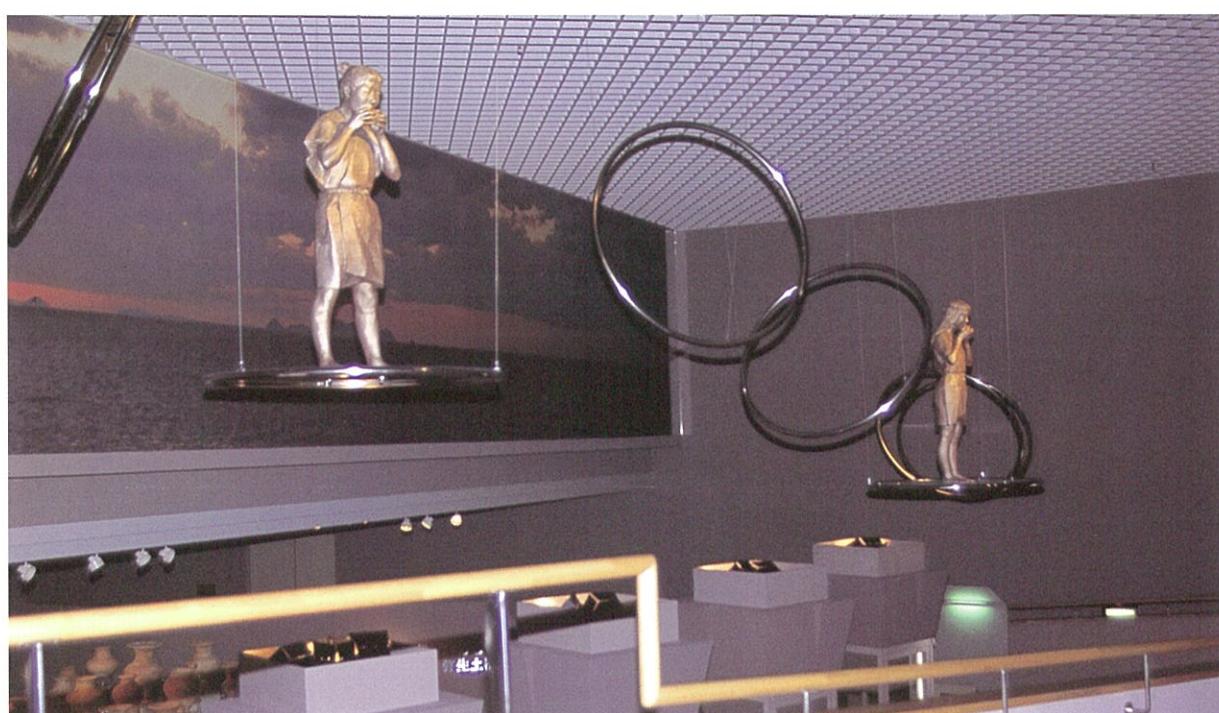
タイムトンネル

下関市は中国山地の端にあたり、日本海、瀬戸内海に囲まれ、南は関門海峡を隔てて北九州と接し、海との関わりの中で、大きく移り変わっています。

タイムトンネルでは、平成・昭和、大正・明治、江戸・室町・鎌倉、平安・奈良の各時代を遡りながら下関の歴史の移り変わりを通過したのち、古墳時代、弥生時代の世界を見学していただきます。



タイムトンネル



土笛を吹く少年と少女

常設展示室

常設展示室では、弥生・古墳時代の下関市域および近接地域の歴史だけでなく、大陸との交流史をも考古資料を通して理解していただけるように、テーマ展示方式を採用しています。また、弥生・古墳時代の文化がゲーム感覚で学習できるように3D映像装置などの視聴覚機器やパソコンを設置しています。

①古墳時代の下関と古墳の副葬品

市内の古墳や古墳時代の遺跡から出土した大刀や馬具、装身具、土器、青銅器などの副葬品や生活用具を交えて展示しています。

②弥生時代のくらしと弥生土器

考古博物館に隣接する国指定史跡「綾羅木郷遺跡」の出土品を中心に、土器や石器、鉄器などの日常生活用具、勾玉などの装身具を展示。あわせて弥生時代の四季の生活パネルによって説明しています。

③海からの文化

中国や朝鮮半島との交流を示す、市内出土の土笛(陶埙)や蓋弓帽、細形銅劍、多鈕細文鏡などの実物および複製品を展示しています。また、縄文～古墳時代にかけての日本・中国・朝鮮半島間の文物交流史を年表形式で示しています。



常設展示室

④その他

・弥生土器検索

綾羅木郷遺跡から出土した弥生土器の種類・文様などをデータベース化し、索引によって検索できるようにしています。

・古墳の模型

若宮1号墳(前方後円墳)・岩谷古墳(円墳)を、内部の様子がわかるよう20分の1の大きさの模型で示しています。

・道具のゆくえ

石器や青銅器などの遺物の用途を、早押しクイズ方式により学習できるようにしています。

・弥生時代・古墳時代アラカルト[Q&A]

弥生時代および古墳時代の文化や社会を、パソコン4台を使い、楽しみながら学習できるようにしています。

・土器ジグソーパズル

甕・壺の破片(セラミック製)を接合し、弥生土器の復元作業が体験できるようにしています。

・映像装置(模型を併用)

a, 弥生のムラ(四季の暮らし)[3D映像] d, 海岸での漁労風景

b, 綾羅木の稻作風景

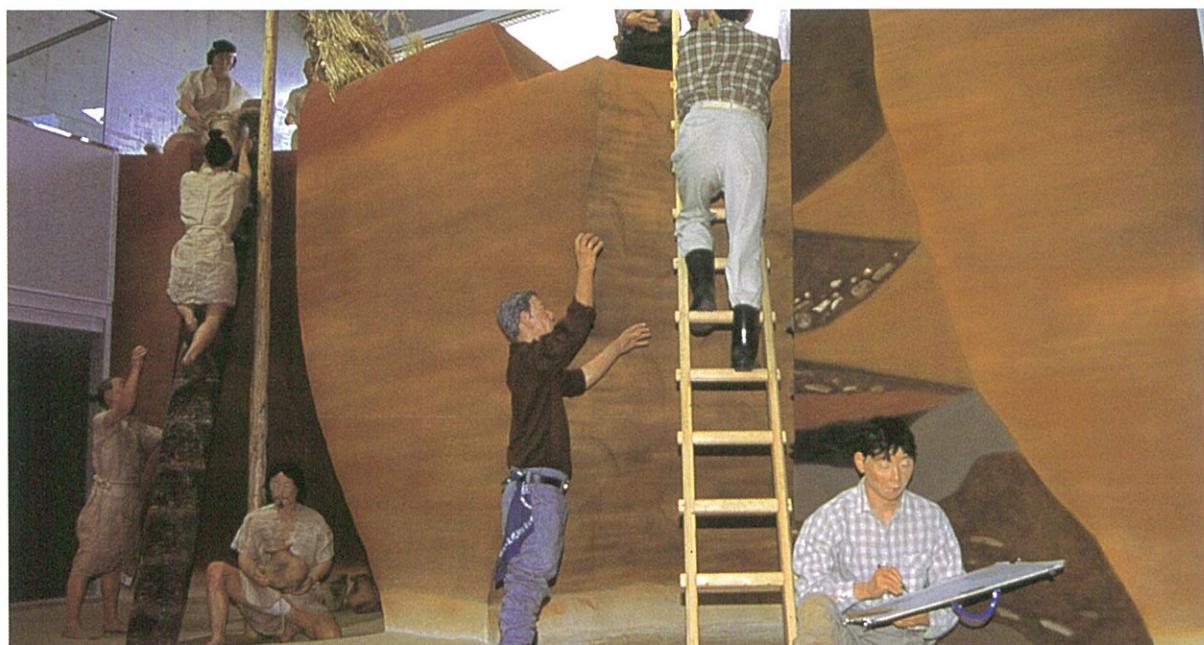
e, 梶栗浜での埋葬風景[3D映像]

c, 貯蔵用竪穴

f, 弥生土器作りの体験

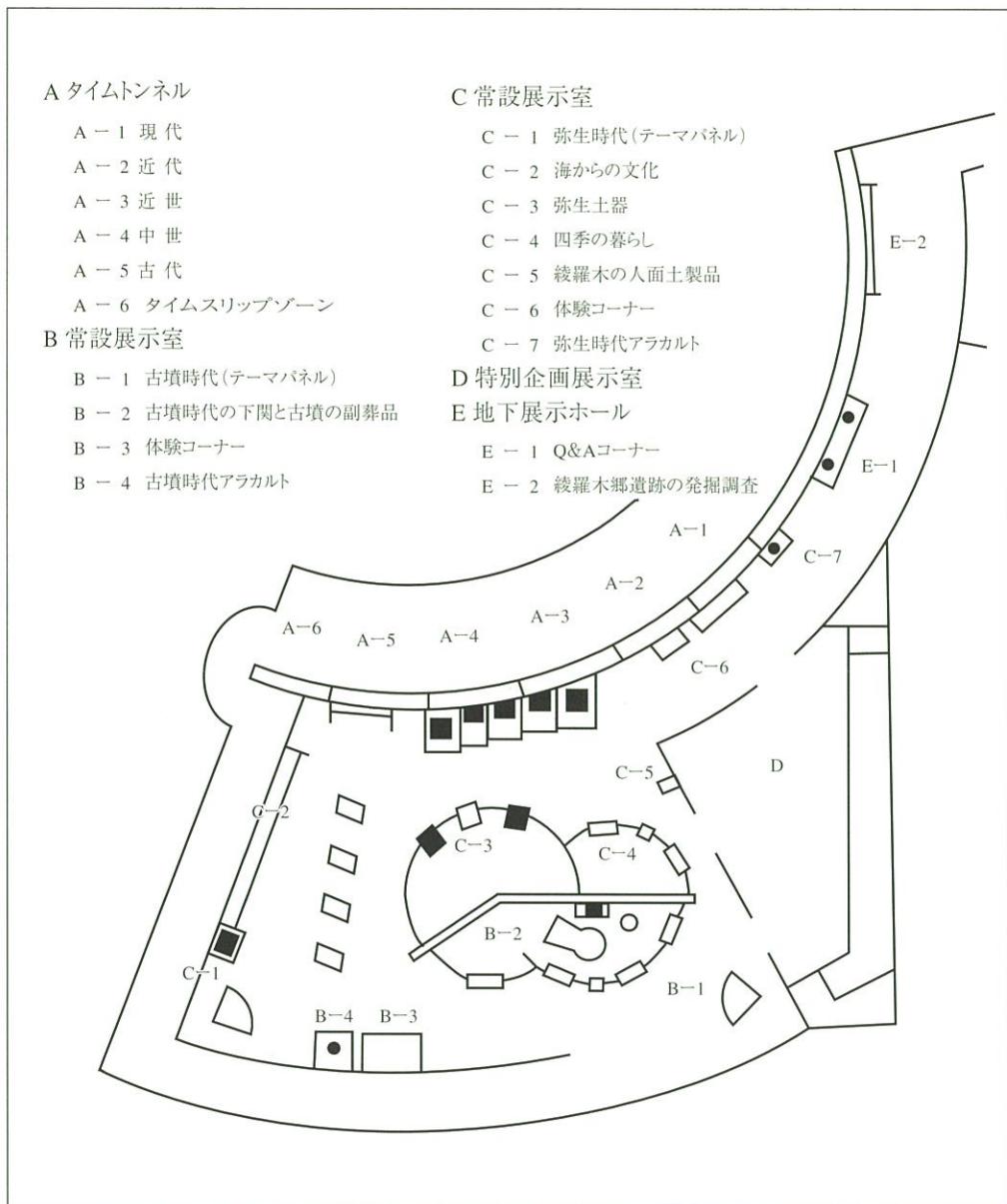
・綾羅木郷遺跡の発掘調査

昭和44(1969)年に、珪砂の採掘を目的に、綾羅木郷遺跡を破壊した業者のブルドーザーの前に、身を挺して立ちはだかったボランティアの人々の様子をグループSYSの撮影した写真パネルで紹介しています。



地下展示ホール

展示場案内



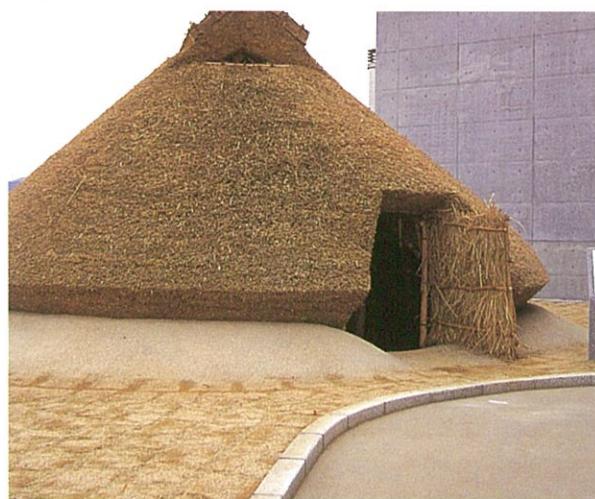
空から見た考古博物館

8 屋外展示

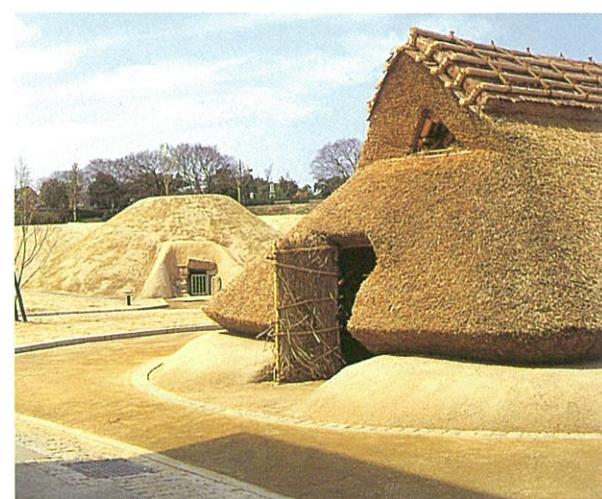
屋外には、移築した岩谷古墳や、弥生・古墳時代の竪穴住居が復元され、中に自由に入れるようになっています。また、古墳の森ゾーンとして若宮古墳群が史跡整備されています。



岩谷古墳



竪穴住居(弥生時代)



竪穴住居(古墳時代)

9 館内の施設

講堂

80名が収容できる講堂です。開館中は三面マルチビジョンを使って1時間おきに映像を放映します。また、市民を対象にした研究会や講演会、シンポジウムなどを行います。



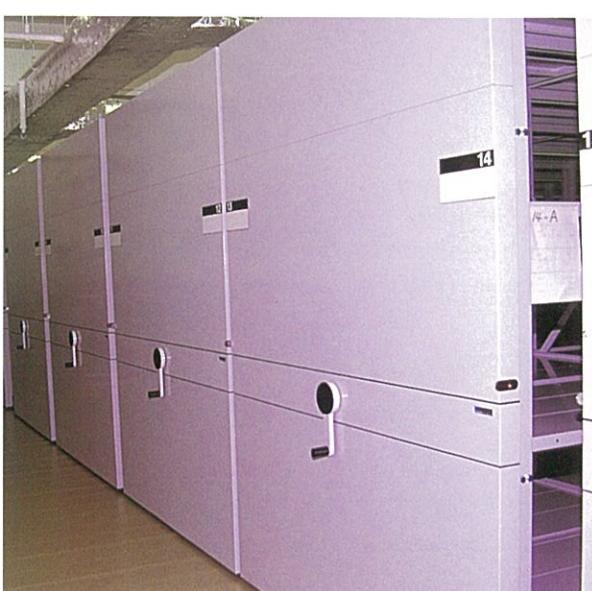
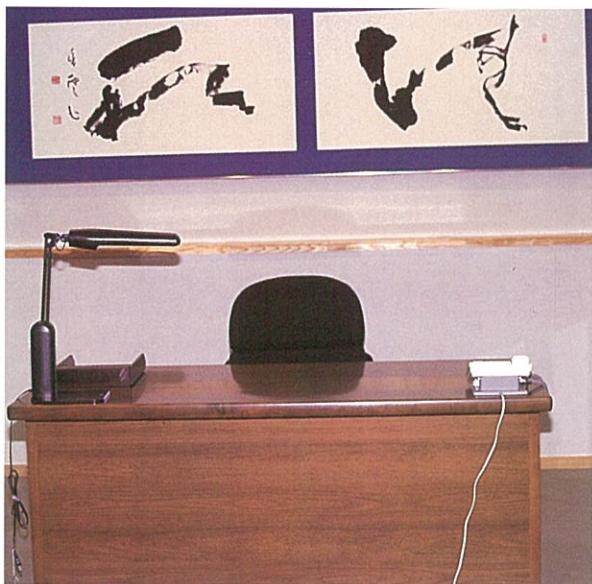
講堂

郷土学習室

史跡 綾羅木郷遺跡の古墳の森の見学・学習、そのほか四季折々を通じて体験学習を行うとともに、下関市内の遺跡や考古学に関わる学習のために、小中学生・成人を対象にした講座を開催します。また学習室の中には、郷土の遺跡を研究する資料や書籍を置き、だれでも利用できます。

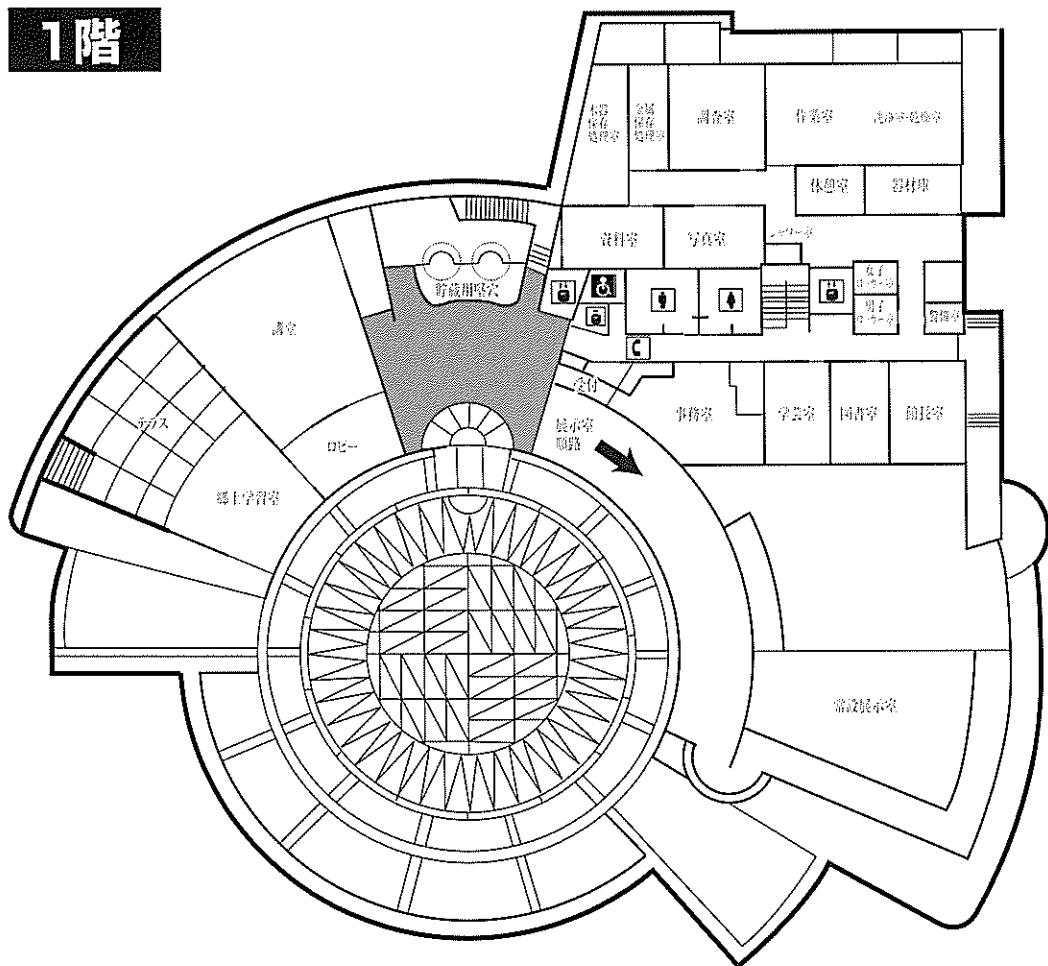


郷土学習室

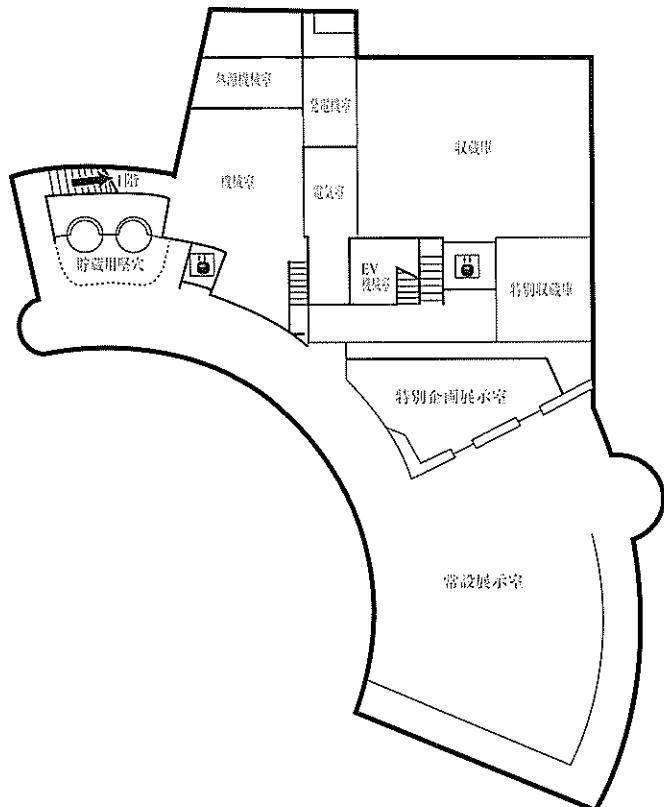


平面図

1階



地階



各室面積

(単位:m²)

| | 面積 | | 面積 |
|-------------------|--------|-------------------|----------|
| A . 展示部門 | | D . 教育普及部門 | |
| 常設展示室 | 403.77 | 講堂 | 170.02 |
| 企画展示室 | 102.27 | 郷土学習室 | 67.03 |
| タイムトンネル | 116.09 | 小計 | 237.05 |
| 展示ロビー | 74.64 | E . 管理部門 | |
| 地下ホール | 97.62 | 受付 | 8.68 |
| 小計 | 794.39 | 館長室 | 34.80 |
| B . 収蔵部門 | | 事務室 | 56.05 |
| 収蔵庫 | 208.50 | 湯沸室 | 7.08 |
| 特別収蔵庫 | 45.77 | 休憩室 | 6.91 |
| 荷捌場 | 38.19 | 更衣室 | 10.45 |
| 小計 | 292.46 | シャワー室 | 5.29 |
| C . 調査研究部門 | | 警備員室 | 5.46 |
| 洗浄・作業室 | 89.47 | 小計 | 134.72 |
| 金属保存処理室 | 20.01 | F . 機械部門 | |
| 木器保存処理室 | 47.57 | 機械室 | 148.13 |
| 資料室 | 31.53 | 熱源機械室 | 32.65 |
| 器材室 | 14.48 | 電気機室 | 26.71 |
| 調査員室 | 17.80 | 電気室 | 38.94 |
| 休憩室 | 14.33 | E V 機械室 | 21.38 |
| 写真室 | 29.47 | C O 2 倉庫 | 19.98 |
| 暗室 | 4.02 | 機械(I F) | 16.06 |
| 学芸員室 | 32.05 | 小計 | 303.80 |
| 図書室 | 29.04 | G . 共用部門 | 443.60 |
| 小計 | 359.77 | 合計 | 2,565.79 |

敷地面積 13,008.39m²

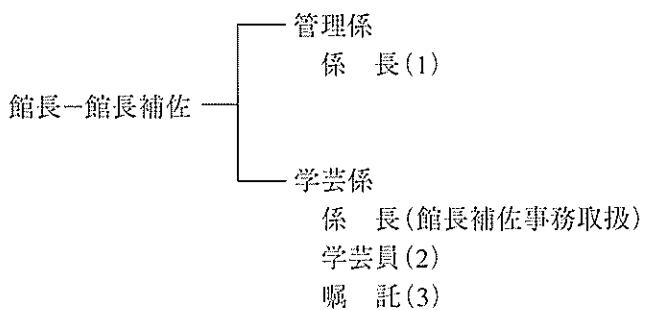
構造 鉄筋コンクリート造2階(地上1階・地下1階)

建築面積 1,782.92m²

建築延面積 2,565.79m²(1階 1,379.38m²・地階 1,186.41m²)

10 管理運営

(1) 組織



(2) 職員

| | |
|---------|-------|
| 館長(嘱託) | 小田富士雄 |
| 館長補佐 | 安永博子 |
| 係長 | 金ヶ江勝則 |
| 学芸員 | 澤下孝信 |
| 学芸員 | 東哲志 |
| 嘱託 | 伊東照雄 |
| 嘱託(学芸員) | 山田信子 |
| 嘱託(学芸員) | 上野加奈恵 |

(3) 博物館協議会委員

委員会名簿

下関市立考古博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関で博物館法および下関市立考古博物館の設置等に関する条例に基づき設置されている。

(4) 予算

(単位:千円)

| 事業名 | 平成9年度 |
|--------|---------|
| 管理運営業務 | 97,810 |
| 調査研究業務 | 10,879 |
| 展示業務 | 19,530 |
| 教育普及業務 | 3,490 |
| 計 | 131,709 |

| 区分 | 氏名 | 役職 |
|---------|------|------------------------------|
| 学識経験者 | 金闇惣 | 大阪府立弥生博物館館長 |
| | 平野博之 | 下関市立大学名誉教授 下関市史編集委員会委員 |
| | 近藤喬一 | 山口大学教授 |
| | 渡辺一雄 | 梅光女学院大学助教授 |
| 関社会係教育者 | 清永只夫 | 下関市文化財保護審議会委員 郷土の文化を守る会会长 |
| | 河波茅子 | 絹の道の会会員 |
| 学校教育関係者 | 網田郁雄 | 下関市立養治小学校校長 小学校社会科部会部長 |
| | 吉井克也 | 下関市立安岡中学校教頭 中学校社会科部会部長 |

11 調査研究

(1)先進地視察・資料調査・研修

<出張先>

西都原古代生活資料館 指宿市立考古博物館 熊本県立装飾古墳館

広島県立歴史博物館 日本郷土玩具博物館 日本博物館協会中国支部職員研修会

豊岡市出土文化財管理センター (財)京都府埋蔵文化財調査研究センター 京都府丹後郷土資料館 福井県立若狭歴史民俗資料館

島根県埋蔵文化財調査センター 和銅博物館

玉湯町立出雲玉造資料館 島根県立八雲立つ風土記の丘資料館 米子市福市考古資料館 淀江町歴史民俗資料館

滋賀県立琵琶湖博物館 城陽市歴史民俗資料館 京都府立山城郷土資料館 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館

(2)研究紀要

平成10年3月31日 「研究紀要」第2号(A4版66頁)発刊

<執筆者>

元真眞之 (熊本大学教授)

畠中健一 (北九州大学名誉教授)

澤下孝信

伊東照雄

<題名>

「綾羅木郷遺跡と東アジアの古代社会」

「考古学と花粉分析」

「多変量解析による石器組成の分析—縄文時代後晩期の瀬戸内および北部九州地方を中心として—」

「綾羅木郷台地遺跡」

12 展示

(1)企画展「よみがえる下関の歴史Ⅰ～吉母浜遺跡～」

会期 平成9年9月23日～12月26日

内容 下関市内には、全国的にも著名な遺跡が数多くあり、「よみがえる下関の歴史」展として下関の歴史認識を深めていただくために開催した。この企画展では、埋葬遺跡としての吉母浜遺跡を取り上げ、I.弥生時代の埋葬、II.中世の埋葬、III.吉母浜の弥生人と中世人の構成で、中世墓出土人骨をはじめとする関連資料約80点を展示公開した。

展示解説会

<日 時> <参加者>

10月5日(日) 65名

11月9日(日) 25名

12月7日(日) 32名

刊行物

<刊行物> <体裁> <発行部数>

ポスター B2版 2,000部

チラシ A4版 10,000部

解説冊子 A4版8頁 2,000部



▲企画展 展示風景

(2) 小展示「史跡の道」展

会期 平成10年2月3日～3月31日

内容 綾羅木郷遺跡国指定史跡記念日にあわせて行う「史跡の道ウォーク」の案内と博物館周辺の遺跡を紹介。

13 教育普及

(1) 講師派遣

| | | | |
|--------------|------------|------------|------------|
| 下関問屋センター協同組合 | 平成9年 4月22日 | 下関図書館 | 平成9年10月26日 |
| 下関古代文化研究会 | 平成9年 9月21日 | 下関古代文化研究会 | 平成9年12月21日 |
| 勝山公民館 | 平成9年10月17日 | 山口県土木建築委員会 | 平成10年1月28日 |

(2) 講演会

① 開館2周年記念講演会

日 時 平成9年5月11日(日)
会 場 下関市立考古博物館 講堂
講 師 北九州大学名誉教授
畠中健一氏
演 題 「考古学と花粉分析」
聴講者 70名

④ 一般教養講座

日 時 平成9年11月9日(日)
会 場 下関市立考古博物館 講堂
講 師 下関市立考古博物館学芸員
澤下孝信
演 題 「コメとドングリ」
聴講者 71名

② 一般教養講座

日 時 平成9年7月20日(日)
会 場 下関市立考古博物館 講堂
講 師 別府大学助教授
本田光子氏
演 題 「朱の考古学」
聴講者 65名

⑤ 綾羅木郷遺跡国指定史跡記念講演会

日 時 平成10年3月8日(日)
会 場 下関市立考古博物館 講堂
講 師 奈良教育大学教授
三辻利一氏
演 題 「胎土分析から見た古代社会」
聴講者 79名

③ 一般教養講座

日 時 平成9年9月28日(日)
会 場 下関市立考古博物館 講堂
講 師 天理大学付属天理参考館学芸員
金原正明氏
演 題 「古代のトイレ」
聴講者 88名



▲一般教養講座

(3) ワーキングミュージアム

①小学生土笛作り教室

講 師 美術家 松岡敏行氏

第1回 日 時 平成9年8月 9日(日)[製作]
平成9年8月24日(日)[野焼]

参加者 28名(抽選)

第2回 日 時 平成9年8月10日(日)[製作]
平成9年8月24日(日)[野焼]

参加者 30名(抽選)



▲土笛作り教室

②土笛作り教室(中学生以上対象)

講 師 美術家 松岡敏行氏

日 時 平成9年10月12日(日)[製作]
平成9年10月26日(日)[野焼]

参加者 28名



▲体験発掘教室

③体験発掘教室

日 時 平成10年2月16日(月)~2月24日(火)

参加者 3名



▲史跡の道ウォーク

④史跡の道ウォーク

日 時 平成10年3月8日(日)9時30分より

場 所 史跡の道

(秋根記念公園～梶栗浜遺跡～考古博物館)

参加者 124名

(4) 博物館実習生の受け入れ

梅光女学院大学日本文学科の学生5名を受け入れ、平成9年8月18日～8月22日までの5日間、博物館実習を行った。

(5) 刊行物

① 常設展示ガイド

発刊日 平成9年6月1日
体裁 A4版 8頁
発行部数 10,000部

④ 下関市立考古博物館 要覧

発刊日 平成10年3月31日
体裁 A4版 40頁
発行部数 200部

② 平成9年度企画展示 解説冊子

発刊日 平成9年9月23日
体裁 A4版 8頁
発行部数 2,000部

⑤ 下関市立考古博物館 研究紀要2

発刊日 平成10年3月31日
体裁 A4版 66頁
発行部数 1,700部

③ 下関市立考古博物館 年報3

発刊日 平成10年3月31日
体裁 A4版 40頁
発行部数 1,300部

⑥ 下関市考古博物館だよりNo.2

発刊日 平成10年3月31日
体裁 A4版 4頁
発行部数 25,000部

(6) 広報活動

市報、新聞、広報紙、タウン誌、考古学関係雑誌などへの博物館行事掲載。テレビ報道でのPR活動。社会教育施設、学校、市内各自治会、市内のJR駅、観光案内所、市内のスーパー・デパートなどを中心に企画展示のポスター・チラシの配布や博物館だよりの配布を行った。

予約を受けた団体観覧者に対し、希望があれば学芸員による展示の解説を行った。

14 資料収集整備

考古博物館への資料の移管

・下関市立長府博物館(平成9年9月25日)

綾羅木郷遺跡(郷台地)出土品

石鏃—6点 柳葉形石鏃—1点

梶栗浜遺跡出土品

細形銅劍—1点 管玉—18点

吉見上越石棺(1号石棺)出土品

小玉—60点 管玉—6点 鏡破片—14点

吉見上越石棺(2号石棺)出土品

水晶曲玉—1点

富任七辻遺跡出土品

大型石包丁(有肩石器)—1点

吉母浜遺跡出土品

あわびおこし—1点

若宮1号墳出土品

勾玉—1点 管玉—1点

・下関市教育委員会文化課(平成9年2月20日)

下関市大字綾羅木字寺屋敷・宝前・石仏・岡・惣八市内の綾羅木郷遺跡発掘調査(第1次・第4次~39次・第44次・第45次)の出土資料、調査記録および調査関係資料

15 資料の貸し出し

写真の貸し出し

・山口県教育委員会(平成9年8月18日~9月5日)

弥生土器、多鈕細文鏡・細形銅劍、連弧文銘帶鏡・蓋弓帽、若宮古墳、エントランスの貯蔵用竪穴

・日本海峡フォーラム(平成9年10月15日~10月31日)

弥生土器・壺、陶墳、多鈕細文鏡・細形銅劍、連弧文銘帶鏡・蓋弓帽、製塙土器

・ランダムコミュニケーションズ(平成9年12月10日~平成10年3月31日)

博物館外観、若宮古墳、エントランスの貯蔵用竪穴

・財団法人広島市歴史科学教育事業団(平成10年2月17日~2月27日)

陶墳(3点)

16 入館者状況

(1) 平成9年度月別入館者数

| 月 | 開館 日数 | 個 人 | | | | 団 体 | | | | 観光券取扱 | | | | | | 1日平均 入館者数 | 合 計 |
|----|----------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-------|--------|--------|--------------|--------|
| | | 一 般 | 高大生 | 小中生 | 小 計 | 一 般 | 高大生 | 小中生 | 小 計 | 一 般 | 高大生 | 小中生 | 小 計 | 有 料 | 無 料 | | |
| 4 | 26 | 609 | 27 | 321 | 957 | 0 | 461 | 0 | 461 | 0 | 0 | 34 | 34 | 1,452 | 444 | 73 | 1,896 |
| 5 | 28 | 906 | 32 | 321 | 1,259 | 203 | 0 | 871 | 1,074 | 48 | 0 | 1,065 | 1,113 | 3,446 | 1,586 | 180 | 5,032 |
| 6 | 25 | 392 | 17 | 95 | 504 | 0 | 0 | 0 | 0 | 185 | 0 | 64 | 249 | 753 | 717 | 59 | 1,470 |
| 7 | 28 | 454 | 35 | 225 | 714 | 52 | 0 | 0 | 52 | 15 | 0 | 0 | 15 | 781 | 347 | 40 | 1,128 |
| 8 | 27 | 924 | 85 | 615 | 1,624 | 64 | 0 | 31 | 95 | 54 | 0 | 13 | 67 | 1,786 | 659 | 91 | 2,445 |
| 9 | 26 | 581 | 34 | 163 | 778 | 39 | 0 | 72 | 111 | 0 | 0 | 58 | 58 | 947 | 881 | 70 | 1,828 |
| 10 | 27 | 917 | 26 | 209 | 1,152 | 372 | 30 | 303 | 705 | 0 | 0 | 47 | 47 | 1,904 | 5,680 | 281 | 7,584 |
| 11 | 28 | 840 | 31 | 143 | 1,014 | 293 | 0 | 35 | 328 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,342 | 1,177 | 90 | 2,519 |
| 12 | 23 | 238 | 11 | 44 | 293 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 293 | 216 | 22 | 509 |
| 1 | 23 | 205 | 9 | 28 | 242 | 30 | 0 | 0 | 30 | 530 | 0 | 4 | 534 | 806 | 205 | 44 | 1,011 |
| 2 | 24 | 343 | 13 | 46 | 402 | 79 | 0 | 0 | 79 | 168 | 0 | 3 | 171 | 652 | 1,483 | 89 | 2,135 |
| 3 | 26 | 488 | 36 | 170 | 694 | 166 | 1 | 36 | 201 | 0 | 0 | 0 | 0 | 897 | 1,029 | 74 | 1,926 |
| 合計 | 311 | 6,897 | 356 | 2,380 | 9,633 | 1,298 | 492 | 1,348 | 3,138 | 1,000 | 0 | 1,288 | 2,288 | 15,059 | 14,429 | 95 | 29,483 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----|--------|-----|-------|--------|-------|-----|-------|-------|-----|---|-----|-----|--------|--------|-----|--------|
| 平成9年度 | 273 | 20,296 | 982 | 6,081 | 27,359 | 4,055 | 103 | 1,576 | 5,734 | 201 | 0 | 134 | 335 | 33,428 | 15,606 | 180 | 49,034 |
| 平成8年度 | 302 | 9,333 | 498 | 3,740 | 13,571 | 2,141 | 109 | 1,375 | 3,625 | 218 | 0 | 679 | 897 | 18,093 | 11,431 | 98 | 29,524 |

入館者

平成9年度入館者数は計29,483名であった。その中、企画展「よみがえる下関の歴史 I ~吉母浜遺跡~」を開催した平成9年9月23日～12月26日の入館者は11月27日に企画展1万人目を突破するなどの盛況ぶりで、最終的に11,267名にのぼった。

また、市民団体の活用として、平成9年10月5日に、郷台地に賑わいを求める会主催「チャリティーフリーマーケット&バザー」を博物館屋外で催し、3,500名の参加者があり、多数の入館者があった。平成9年10月31日には、開館以来入館者が10万人を突破した。

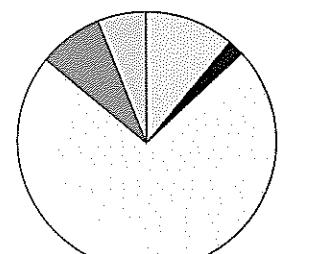


▲入館者10万人目

(2) 平成9年度都道府県別入館者数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|--------|
| 北海道 | 2 | | | 1 | | 1 | | | 3 | | 1 | 2 | 10 |
| 青森 | | | | 1 | 28 | | | | | | | | 29 |
| 岩手 | | | | | | 2 | | | | | | | 2 |
| 宮城 | | | | | | | | | | | | 2 | 2 |
| 秋田 | | | | | | | | | | | | | |
| 山形 | | | | | | | | | | | | | |
| 福島 | | | 1 | | | | | | | | 6 | | 7 |
| 茨城 | | | | | 6 | | | | | | | | 6 |
| 栃木 | | 1 | | | 5 | | 2 | | | | | | 8 |
| 群馬 | 1 | | | 1 | | | | | | | | | 2 |
| 埼玉 | 1 | 2 | | 16 | 3 | | | | | | | | 21 |
| 千葉 | | | | | 2 | 1 | | | | | 1 | 4 | 8 |
| 東京 | 14 | 5 | 16 | 25 | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 | 7 | | 3 | 87 |
| 神奈川 | 3 | 2 | 1 | 19 | | | | | | | 8 | | 33 |
| 新潟 | | | | | | | | | | | | | |
| 富山 | | | | | | | | | | | | | |
| 石川 | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 福井 | | | | | | | | | | | | | |
| 山梨 | | | | | | | | | | | | | |
| 長野 | | | | | | | | | | | | | |
| 岐阜 | | | | | | 2 | 2 | | | | | | 4 |
| 静岡 | | 1 | | 9 | | 11 | | | | 14 | | | 35 |
| 愛知 | 1 | 2 | 10 | 6 | | | 1 | | | | | 3 | 23 |
| 三重 | | 1 | 2 | | | 5 | | | | 6 | | | 14 |
| 滋賀 | 12 | | | | | | 1 | | | | 1 | | 14 |
| 京都 | 22 | 1 | 3 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 38 |
| 大阪 | 4 | 10 | 1 | 5 | 33 | 17 | 6 | 2 | 4 | 6 | 2 | 2 | 90 |
| 兵庫 | 6 | 7 | 2 | 5 | 21 | | 5 | 2 | 1 | 2 | 7 | 2 | 60 |
| 奈良 | | | | 4 | 1 | 5 | | | | 2 | 1 | | 13 |
| 和歌山 | | | 3 | | 1 | | | | | | 1 | | 5 |
| 鳥取 | | | 2 | | 4 | | | | | | | 1 | 7 |
| 島根 | | 231 | | 4 | 53 | 2 | | | | | | 4 | 294 |
| 岡山 | 1 | 7 | 2 | 2 | | 6 | | | | | 4 | 2 | 24 |
| 広島 | 47 | 989 | 20 | 19 | 36 | 48 | 98 | 62 | 11 | 11 | 95 | 71 | 1,507 |
| 山口 | 1,211 | 3,501 | 1,213 | 937 | 1,987 | 1,622 | 7,015 | 2,105 | 430 | 326 | 1,706 | 1,645 | 23,698 |
| (下関除外) | 1,076 | 2,480 | 947 | 899 | 1,822 | 1,409 | 6,778 | 1,903 | 411 | 297 | 1,680 | 1,545 | 21,247 |
| 徳島 | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 2 |
| 香川 | | 1 | | | 13 | | | | | | | 3 | 17 |
| 愛媛 | 3 | | 2 | 3 | | | 2 | 1 | | | | 1 | 14 |
| 高知 | 4 | | | | | | | | | | | | 4 |
| 福岡 | 588 | 223 | 131 | 69 | 187 | 92 | 172 | 267 | 36 | 31 | 47 | 140 | 1,983 |
| 佐賀 | | 3 | | | | | 32 | | | | 43 | 2 | 80 |
| 長崎 | | 4 | 73 | 2 | 6 | 1 | 143 | | | | 1 | 1 | 231 |
| 熊本 | 3 | 10 | 3 | 4 | 7 | 7 | 14 | 39 | 1 | | 4 | 92 | |
| 大分 | | 5 | | 17 | 13 | | 3 | 4 | 10 | 606 | 200 | 24 | 882 |
| 宮崎 | 1 | | 1 | 2 | 11 | | | | 9 | | | | 24 |
| 鹿児島 | | 1 | 1 | | 5 | | | 2 | | | | | 9 |
| 沖縄 | | 2 | | 2 | | 7 | | | | | | | 11 |
| 外国 | 1 | 4 | 3 | 13 | 5 | 35 | | 21 | | 2 | 7 | | 91 |
| 合計 | 1,896 | 5,032 | 1,470 | 1,128 | 2,445 | 1,828 | 7,584 | 2,519 | 509 | 1,011 | 2,135 | 1,926 | 29,483 |

受付で入館者全員に「どこから来られましたか?」という質問をしてもらい、都道府県別入館者を集計した結果、やはり市内からの入館者が最も多く、全体の7割を占めた。その他の地域では、本年度特に広島県、山口県内の学校団体から多く利用していただき、中国地方からの入館者が、昨年度に比べ増加した。九州地方は特に北九州からの入館者が多い。博物館が任意で行っているアンケートによると、下関方面に自動車で来られた際にちょっと立ち寄るケースや、人に聞いて知ったなどで来られることが多い。また、観光業者からのツアーのルートとしても取り入れられ、大いに活用していただいた。



(3) 学校団体

市内の学校

| 学 校 名 | 見学日 |
|--------------|---------|
| 吉見小学校 | 4月 19日 |
| 山口県立認学校 下関分校 | 4月 24日 |
| 川中西小学校 | 5月 1日 |
| 安岡小学校 | 5月 1日 |
| の宮小学校 | 5月 2日 |
| 垢田小学校 | 5月 6日 |
| 角倉小学校 | 5月 7日 |
| 川中小学校 | 5月 8日 |
| 王江小学校 | 5月 9日 |
| 豊浦小学校 | 5月 10日 |
| 川中幼稚園 | 5月 20日 |
| 関西小学校 | 5月 21日 |
| 小月小学校 | 5月 24日 |
| 長府小学校 | 5月 30日 |
| 玄洋中学校 | 6月 4日 |
| 川中小学校 | 6月 5日 |
| 養治小学校 | 6月 6日 |
| 桜山小学校 | 6月 14日 |
| 豊浦小学校 | 6月 27日 |
| 梅光女学院大学 | 6月 28日 |
| 王司小学校 | 6月 28日 |
| 王司小学校 | 7月 5日 |
| 向井小学校 | 7月 5日 |
| 川中西小学校 | 8月 2日 |
| 山口朝鮮高級学校 | 10月 4日 |
| 小月小学校 | 10月 9日 |
| 垢田幼稚園 | 10月 14日 |
| 名池小学校 | 10月 14日 |
| 川中中学校 | 11月 1日 |
| 山の田小学校 | 11月 1日 |
| 山の田小学校 | 11月 7日 |
| 吉母小学校 | 11月 27日 |
| 第2クスの園 | 12月 16日 |
| 山口県立下関養護学校 | 2月 7日 |
| いちょう幼稚園 | 2月 27日 |
| 山口県立下関養護学校 | 3月 7日 |

市外の学校

| 県名 | 学 校 名 | 見学日 |
|----|----------------|---------|
| 山口 | 玖珂郡周東町立高森小学校 | 5月 8日 |
| | 岩国市立通津小学校 | 5月 8日 |
| | 大津郡油谷町立向津具中学校 | 5月 9日 |
| | 岩国市立愛宕小学校 | 5月 13日 |
| | 岩国市錦川連合小学校 | 5月 14日 |
| | 玖珂郡錦町連合小学校 | 5月 15日 |
| | 岩国市立瀬小学校 | 5月 15日 |
| | 岩国市立麻里布小学校 | 5月 15日 |
| | 玖珂郡美川町連合小学校 | 5月 22日 |
| | 岩国市立中洋小学校 | 5月 27日 |
| | 豊浦郡豊北町立二見小学校 | 6月 28日 |
| | 豊浦郡菊川町立岡江小学校 | 9月 18日 |
| | 豊浦郡豊田町立農東小学校 | 9月 17日 |
| | 長門市立青治島小学校 | 10月 23日 |
| 広島 | 広島市立袋町小学校 | 4月 24日 |
| | 吳市立舊園屋小学校 | 5月 7日 |
| | 吳市立二河小学校 | 5月 8日 |
| | 吳市立昭和西小学校 | 5月 12日 |
| | 広島市立落合東小学校 | 5月 13日 |
| | 広島市立船越小学校 | 5月 14日 |
| | 広島市立横那小学校 | 5月 14日 |
| | 広島市立青崎小学校 | 5月 15日 |
| | 広島市立早稲田小学校 | 5月 15日 |
| | 吳市立鍋小学校 | 5月 20日 |
| | 広島市立鈴ヶ峰小学校 | 5月 21日 |
| | 吳市立昭和東小学校 | 5月 22日 |
| | 広島市立八木小学校 | 10月 23日 |
| 島根 | 鹿足郡六日市連合小学校 | 5月 8日 |
| | 益田市立吉田小学校 | 5月 29日 |
| | 益田市立吉田南小学校 | 10月 16日 |
| 福岡 | 九州国際高校 | 4月 9日 |
| | 北九州市立伊川小学校 | 6月 10日 |
| | 北九州市立東糸綱小学校 | 9月 12日 |
| | 北九州市立星陵中学校 | 10月 9日 |
| 長崎 | 東彼杵郡東彼杵町立彼杵小学校 | 6月 11日 |
| | 大村市立朝日丘小学校 | 10月 30日 |

(4) 博物館施設使用団体

| 団 体 名 | 使 用 日 | 人 数 | 使 用 施 設 |
|--------------|---------|------|---------|
| 勝山頃歎会 | 4月 12日 | 14人 | 学習室 |
| 下関市古代文化研究会 | 4月 20日 | 40人 | 学習室 |
| 下関市古代文化研究会 | 5月 18日 | 40人 | 学習室 |
| 下関市古代文化研究会 | 6月 15日 | 50人 | 講堂 |
| 吟行句会 | 6月 23日 | 12人 | 学習室 |
| 王司小学校 | 7月 5日 | 27人 | 学習室 |
| 下関市古代文化研究会 | 8月 17日 | 40人 | 学習室 |
| アンサンブル ブルンネン | 9月 12日 | 13人 | 講堂 |
| アンサンブル ブルンネン | 9月 19日 | 13人 | 講堂 |
| 下関市教育委員会 文化課 | 9月 13日 | 50人 | 講堂 |
| 姫台地に腰わいを求める会 | 9月 21日 | 10人 | エントランス |
| 下関市古代文化研究会 | 9月 21日 | 40人 | 学習室 |
| 下関市古代文化研究会 | 10月 19日 | 40人 | 学習室 |
| 勝山公民館 | 10月 17日 | 40人 | 学習室 |
| 吟行句会 | 11月 7日 | 20人 | 学習室 |
| 下関市教育委員会 文化課 | 11月 16日 | 150人 | 学習室 |
| 下関市古代文化研究会 | 11月 16日 | 40人 | 学習室 |
| 下関市古代文化研究会 | 12月 21日 | 35人 | 学習室 |
| 下関市古代文化研究会 | 1月 18日 | 40人 | 学習室 |
| 下関市陸上協議協会 | 2月 8日 | 350人 | 講堂、学習室 |
| 下関市古代文化研究会 | 2月 15日 | 40人 | 学習室 |
| 下関市教育委員会 文化課 | 2月 27日 | 5人 | 学習室 |
| 下関市教育委員会 文化課 | 3月 1日 | 5人 | 学習室 |

(5) 行政視察団体

| 団 体 名 | 視 察 日 |
|------------------|---------|
| 韓国濟州道南済州郡水産課 | 4月 24日 |
| 八日市市議会 | 5月 13日 |
| 下関市消費者センター | 5月 13日 |
| (財) 広島市歴史化學教育事業団 | 5月 22日 |
| 徳島市議会 | 8月 5日 |
| 下関市・青森市子ども交流団 | 8月 10日 |
| 徳山高等学校 | 8月 17日 |
| 下関市教育委員会 文化課 | 9月 13日 |
| 下関市福祉協議会 老人大学 | 9月 17日 |
| ボーランド(アメリカ)視察団 | 9月 20日 |
| 鯉庭市議会 | 9月 24日 |
| 山の田地区スポーツ推進協議会 | 10月 10日 |
| 勝山公民館 市民学級 | 10月 17日 |
| 笠岡市教育委員会 | 10月 22日 |
| 浜松市議会 | 10月 21日 |
| 小川公民館 長寿大学 | 10月 23日 |
| 山口県高等学校教育研究会社会部会 | 11月 14日 |
| 山口県教育委員会 | 11月 23日 |
| 日韓青年交流委員会 | 11月 26日 |
| 千歳市議会 | 11月 27日 |
| 八女市教育委員会 | 11月 30日 |
| (財) 大阪府文化財調査センター | 12月 8日 |
| 吉小牧市教育委員会 | 12月 16日 |
| 國立歴史民俗博物館 | 12月 17日 |
| 青島市行政考察団 | 12月 20日 |
| 青少年課児童クラブ | 1月 16日 |
| 上野市議会 | 1月 22日 |
| 富士宮市議会 | 1月 27日 |
| 小平市議会 | 1月 28日 |
| いわき市議会 | 2月 5日 |
| 佐賀県土木部吉野ヶ里公園課 | 2月 10日 |
| 徳島県立博物館 | 2月 10日 |
| 高松市議会 | 2月 17日 |
| 加古川市議会 | 2月 18日 |
| 国際交流会 | 2月 18日 |
| 岡山県古代吉備文化財センター | 2月 25日 |
| 糸島地区社会教育振興会 | 2月 26日 |
| 下関市公衆衛生推進協議会 | 2月 27日 |
| 下関市教育委員会 体育課 | 3月 14日 |

17 購入図書

| | 書名 | | 書名 |
|----|-----------------------------|----|--------------------------|
| 1 | MUSEUM 547～552号 | 47 | 終末期古墳と大谷1号墳 |
| 2 | アサヒグラフ別冊 銅鐸の谷—加茂岩倉遺跡と出雲一 | 48 | 出土銭貨 第6・7号 |
| 3 | たら吹製鉄の技術と構造の考古学的研究 | 49 | 春日市史 上 |
| 4 | マンガ日本の歴史1～24・45～48 | 50 | 駿台考古学論集 1・2 |
| 5 | 安土桃山時代の遺跡と人物 | 51 | 小都市史 第1巻—通史編— |
| 6 | 羽曳野市史 第1巻 本文編 I | 52 | 新修 倉敷市史 1—考古— |
| 7 | 岡山県史 2—原始・古代— | 53 | 人間・遺跡・遺物 2 |
| 8 | 鎌倉時代の遺跡と人物 | 54 | 人間・遺跡・遺物 3—麻生優先生退官記念論文集— |
| 9 | 漢三國六朝紀年鏡圖說 | 55 | 碩悟 伊容鎮教授停年退任紀念論叢 |
| 10 | 季刊 文化遺産 1～4 | 56 | 先史学・考古学論究 II |
| 11 | 紀伊半島の文化史的研究—考古学編— | 57 | 先土器・縄文・弥生時代の遺跡と人物 |
| 12 | 騎馬民族は来なかった | 58 | 戦国時代の遺跡と人物 |
| 13 | 京都府埋蔵文化財論集 第3集 | 59 | 続日本古墳文化資料綜覧(遺跡篇) |
| 14 | 空から見た古代遺跡と条里 | 60 | 続日本古墳文化資料綜覧(文献篇) |
| 15 | 月刊 文化財発掘出土情報 '97.4～'98.3 | 61 | 太宰府市史 考古資料編 |
| 16 | 月刊文化財 4～12(平成9年)・1～3(平成10年) | 62 | 大阪市文化財論集 |
| 17 | 堅田 直先生古希記念論文集 | 63 | 大阪府下埋蔵文化財研究会(第36回)資料 |
| 18 | 研究紀要 第13号 | 64 | 辰砂生産遺跡の調査—徳島県阿南市若杉山遺跡— |
| 19 | 原始・古代の長崎県 資料編 I・II | 65 | 中国上古出土楽器総論 |
| 20 | 古代の地方史 1～7 | 66 | 中国先史・古代農耕関係資料集成 |
| 21 | 古代の土師器生産と焼成遺構 | 67 | 鉄の古代史 1・2 |
| 22 | 古代研究 第3輯 | 68 | 東アジアにおける古代国家成立期の諸問題 |
| 23 | 古代寺院の出現とその背景 第1・2分冊 | 69 | 東アジアの古代文化 第91～94号 |
| 24 | 古代出土漆器の研究 | 70 | 東京大学総合研究博物館所蔵 縄文時代土偶・その他 |
| 25 | 古代文化 第49巻 第4～12号 | 71 | 土製品カタログ |
| 26 | 古代文化 第50巻 第1～3号 | 72 | 陶邑・大庭寺遺跡 II |
| 27 | 古墳(大和)時代の遺跡と人物 | 73 | 内蒙古文物考古文集 第一輯 |
| 28 | 古文化論叢—伊達先生古稀記念論集— | 74 | 縄文学への道 |
| 29 | 弘法山古墳 | 75 | 縄文人に学ぶ—歴史・環境・ライフスタイル— |
| 30 | 江戸時代前期の遺跡と人物 | 76 | 南知多町の考古資料 |
| 31 | 江戸時代中期の遺跡と人物 | 77 | 日本の遺跡なんでも事典 |
| 32 | 考古学ジャーナル 415～428 | 78 | 日本の歴史 |
| 33 | 考古学と古代日本 | 79 | 日本の歴史 できごと事典 |
| 34 | 考古学と文化史—安井良三博士還暦記念論集— | 80 | 日本の歴史 人物事典 |
| 35 | 考古学による日本歴史 12—芸術・学芸とあそび— | 81 | 日本の歴史 1～18 |
| 36 | 考古学による日本歴史 10 対外交渉 | 82 | 日本の歴史年表 |
| 37 | 考古学の諸相—坂詰秀一先生還暦記念論文集— | 83 | 日本原始美術 1～4・6 |
| 38 | 考古学報 1996年 第1～4期 | 84 | 日本古代史料学 |
| 39 | 考古学報 1997年 第1～2期 | 85 | 日本古墳文化資料綜覧 |
| 40 | 考古學資料圖鑑 | 86 | 播磨古瓦の研究 |
| 41 | 高句麗考古学研究 | 87 | 卑弥呼の鏡 |
| 42 | 国立歴史民俗博物館研究報告 第65集 | 88 | 飛鳥・奈良・平安時代の遺跡と人物 |
| 43 | 三上次男博士喜寿記念論文集—考古編— | 89 | 飛鳥・白鳳時代の諸問題 I・II |
| 44 | 三世紀の考古学 中巻—三世紀の遺跡と遺物— | 90 | 美沙里 第1～5巻 |
| 45 | 三世紀の考古学 下巻—三世紀の日本列島— | 91 | 美術工芸品の保存と保管 |
| 46 | 室町時代の遺跡と人物 | 92 | 明治・大正・昭和時代の遺跡と人物 |

18 図書寄贈先一覧

| | 書名 | 寄贈者 | | 書名 | 寄贈者 |
|----|---------------------------------|------|-----|--|------------------|
| 1 | 科学 vol.39 no.1 | 後藤謙幸 | 81 | 珠石原遺跡 | 立平 道 |
| 2 | 大阪府立近つ飛鳥博物館要覧 | 後藤謙幸 | 82 | 大深山古墳 | 立平 道 |
| 3 | 古文化談叢 第5集 | 後藤謙幸 | 83 | 風呂川遺跡 | 立平 道 |
| 4 | 弥生文化博物館要覧 平成5年度 | 後藤謙幸 | 84 | カラカミ遺跡 | 立平 道 |
| 5 | 滋賀県立安土城考古博物館要覧 | 後藤謙幸 | 85 | 長崎県と朝鮮半島 | 立平 道 |
| 6 | 地方史研究必携 | 後藤謙幸 | 86 | 松本コレクション 欧州古版日本地図集 | 立平 道 |
| 7 | 丹波 | 後藤謙幸 | 87 | 長崎県立美術博物館収蔵品目録4 | 立平 道 |
| 8 | 信楽 | 後藤謙幸 | 88 | 三川内・現川・長与三彩焼 | 立平 道 |
| 9 | 伊賀 | 後藤謙幸 | 89 | 五島列島漁業図解 | 立平 道 |
| 10 | 黄瀬戸 潟芦里 | 後藤謙幸 | 90 | 対馬の民俗と船 | 立平 道 |
| 11 | 志野 | 後藤謙幸 | 91 | 鍋戸町の民俗文化 | 立平 道 |
| 12 | 堤郎 | 後藤謙幸 | 92 | 西海の歴史と民俗—九州西岸域の文化交流史— | 立平 道 |
| 13 | 唐津 | 後藤謙幸 | 93 | 民具 蔎しを語るもの達 | 立平 道 |
| 14 | 萩 上野 萩取 | 後藤謙幸 | 94 | 神々と人のふれあい 民俗文化の原点 | 立平 道 |
| 15 | 薩摩 | 後藤謙幸 | 95 | 長崎県の考古学 22のテーマを探る | 立平 道 |
| 16 | 長次郎 | 後藤謙幸 | 96 | 西海のじら拂り 西海捕鯨の歴史と頬巻 | 立平 道 |
| 17 | 楽代々 | 後藤謙幸 | 97 | ハ王子むかしむかし | 大野治二 |
| 18 | 光悦 玉水 大焰 | 後藤謙幸 | 98 | マカでつづる歴史50年 | 大野治二 |
| 19 | 吉伊万里 | 後藤謙幸 | 99 | 東アジアの稻作起源と古代稻作文化 | 和佐野喜久生 |
| 20 | 柿右衛門 | 後藤謙幸 | 100 | 戦後初期の宜野湾一橋原角郎日記 | 桃原正質 |
| 21 | 鍋島 | 後藤謙幸 | 101 | 墨書き文字発見と四世纪の日本 | 水野正好 |
| 22 | 古九谷 | 後藤謙幸 | 102 | 日本古代史「王権」の最前線 | 小池 寛 |
| 23 | 仁清 | 後藤謙幸 | 103 | 陶質土器の起源について | 小池 寛 |
| 24 | 乾山 古清水 | 後藤謙幸 | 104 | 中日の古代都城と文物交流の研究 | 森 浩一 |
| 25 | 新川 木米 | 後藤謙幸 | 105 | 青海文物 | 青海省考古研究所 |
| 26 | 仁阿弥 保全 | 後藤謙幸 | 106 | 博物館の防災方策に関する調査研究報告書 | (財) 日本博物館協会 |
| 27 | 郷土 第1~8集 | 後藤謙幸 | 107 | 博物館指導者研究会報告書 平成8年度 | (財) 日本博物館協会 |
| 28 | 郷土 第5集 | 後藤謙幸 | 108 | 博物館におけるマルチメディアの活用に関する調査研究報告書(II) 平成8年度 | (財) 日本博物館協会 |
| 29 | 郷土 第6集 | 後藤謙幸 | 109 | 第44回 全国博物館大会報告書—平成8年度 | (財) 日本博物館協会 |
| 30 | 郷土 第7集 一間閣港百年— | 後藤謙幸 | 110 | 調査年報10 平成9年度 | (財) 北海道埋蔵文化財センター |
| 31 | 郷土 第8集 | 後藤謙幸 | 111 | 苫小牧市埋蔵文化財調査センター摘要1997 | 苫小牧市埋蔵文化財センター |
| 32 | えとのす 1~24・27~32 | 後藤謙幸 | 112 | 苫小牧の埋蔵文化財(縄文時代・早期型) | 苫小牧市埋蔵文化財調査センター |
| 33 | 古代史を歩く 1~12 | 後藤謙幸 | 113 | 北海道開拓の村要覧 平成9年度 | (財) 北海道開拓の村 |
| 34 | 縄文 | 後藤謙幸 | 114 | 利尻研究16号 | 利尻町立博物館 |
| 35 | 弥生 土師器 | 後藤謙幸 | 115 | ビーナ丘遺跡 | 利尻町教育委員会 |
| 36 | 土偶 墓輪 | 後藤謙幸 | 116 | 根室市博物館解説準備会要第11号 | 根室市博物館開設準備会 |
| 37 | 須恵器 | 後藤謙幸 | 117 | 調査年報6 平成8年度 | 根室市埋蔵文化財センター |
| 38 | 三彩 縁胎 | 後藤謙幸 | 118 | 山形県立博物館館報 平成9年度 | 山形県立博物館 |
| 39 | 白毫 | 後藤謙幸 | 119 | ブナの森への招待状 | 山形県立博物館 |
| 40 | 越前 珠洲 | 後藤謙幸 | 120 | 酒田市立資料館一間館20周年記念特集 | 酒田市教育委員会 |
| 41 | 常滑 湿美 | 後藤謙幸 | 121 | ネアンデルタール人の復活 | 仙台市常滑遺跡保存館 |
| 42 | 泊戸 美濃 | 後藤謙幸 | 122 | 平成8年度 地底の森ミュージアム年報 第1号 | 仙台市常滑遺跡保存館 |
| 43 | 備前 | 後藤謙幸 | 123 | 市民文化財研究員活動報告書1 | 仙台市常滑遺跡保存館 |
| 44 | 郷土 第9~10・14~21集 | 後藤謙幸 | 124 | 金屋博物館紀要 第27号 | 金屋博物館 |
| 45 | MUSEUM 509号 | 後藤謙幸 | 125 | 金屋博物館紀要 1997-II 第28号 | 金屋博物館 |
| 46 | 山口県先史時代代表遺物集成からみに徳年の研究 | 後藤謙幸 | 126 | 北上市立博物館研究報告 第11号 | 北上市立博物館 |
| 47 | 九州の原始文様 | 後藤謙幸 | 127 | 平成8年度 花巻市内道路発掘調査報告書 | 花巻市教育委員会 |
| 48 | 飛鳥 | 後藤謙幸 | 128 | 花巻市文化財調査報告書 | 花巻市教育委員会 |
| 49 | 大黄河文明の流れ | 後藤謙幸 | 129 | 青森県立郷土館調査研究年報 第21号 | 青森県立郷土館 |
| 50 | 安陽発掘 | 後藤謙幸 | 130 | 青森県立郷土館収蔵品目録 第7集 | 青森県立郷土館 |
| 51 | 東日本における初期弥生時代の石器の用途と系譜 | 後藤謙幸 | 131 | 八戸市博物館研究紀要 第12号 | 八戸市博物館 |
| 52 | 日本考古学辞典 | 後藤謙幸 | 132 | 八戸市博物館年報 第14号 平成8年度 | 八戸市博物館 |
| 53 | 下関市綾羅木郷台地遺跡調査概報 第9報(1) | 後藤謙幸 | 133 | 風張遺跡の発掘文書 | 八戸市博物館 |
| 54 | 下関市綾羅木郷台地遺跡発掘調査概報 | 後藤謙幸 | 134 | 富士山明細図 | 富士吉田市埋蔵文化財博物館 |
| 55 | 下関市綾羅木郷台地遺跡EL.FU地点発掘調査概報 | 後藤謙幸 | 135 | 帝京大学山梨文化財研究所研究報告 第8集 | 帝京大学山梨文化財研究所 |
| 56 | 下関市綾羅木郷台地遺跡EL地點における遺構の残存状況調査報告書 | 後藤謙幸 | 136 | 大坪遺跡発掘調査報告書Ⅲ | 甲府市教育委員会 |
| 57 | 下関市綾羅木郷台地遺跡EL地點発掘調査報告書 | 後藤謙幸 | 137 | 社口遺跡第3次調査報告書 | 高根町教育委員会 |
| 58 | 歴史街道1988 7~12月号 | 後藤謙幸 | 138 | 板木県立博物館 紀要 第14号 | 板木県立博物館 |
| 59 | 歴史街道1990 1~10月号 | 後藤謙幸 | 139 | 明治天皇と御巡幸 | 板木県立博物館 |
| 60 | 歴史街道1991 4~6月号 | 後藤謙幸 | 140 | 動物はにわコクション—開拓の動物埴輪— | 板木県立博物館 |
| 61 | 歴史街道1993 8月号 | 後藤謙幸 | 141 | 板木県立しちつけ風土記の丘資料館年報 第11号(平成8年度) | 板木県立しちつけ風土記の丘資料館 |
| 62 | 山口県地方史研究 第13~16・18号 | 伊東照雄 | 142 | 板木県埋蔵文化財センター年報 第7号(平成9年度) | 板木県埋蔵文化財センター |
| 63 | 私たちの考古学(1~20) | 伊東照雄 | 143 | 寺野東遺跡Ⅷ | 小山市教育委員会 |
| 64 | 考古学研究(21~40) | 伊東照雄 | 144 | 慈昌寺古墳発掘調査報告書 | 小山市教育委員会 |
| 65 | 考古学研究(41~48) | 伊東照雄 | 145 | 小山市立博物館紀要 第5号 | 小山市立博物館 |
| 66 | 考古学研究(49~56) | 伊東照雄 | 146 | 小山市立博物館館報 第14号 平成8年度版 | 小山市立博物館 |
| 67 | 考古学研究 第13巻 第3号 | 伊東照雄 | 147 | 下野国窪川郡—古代・中世の跡跡一 | 小山市立博物館 |
| 68 | 考古学研究 第15~40巻 第5~4号 | 伊東照雄 | 148 | 寺野東遺跡 | 小山市教育委員会 |
| 69 | 三世紀の考古学 上巻—三世紀の自然と人間— | 伊東照雄 | 149 | 足形遺跡発掘調査報告書 | 小山市教育委員会 |
| 70 | 山口県地方史研究 第13~17号 | 伊東照雄 | 150 | 牧ノ内I | 小山市教育委員会 |
| 71 | 防長漢式鏡の研究 | 伊東照雄 | 151 | 黒磯市の文化財 | 黒磯市教育委員会 |
| 72 | 國學院雑誌 第81巻 第1号 | 伊東照雄 | 152 | 占いの文化史—てんのかみさまのいうとおりー | 小山市立博物館 |
| 73 | 尾足根穴群 甲号横穴发掘調査報告書 | 高田祐一 | 153 | 宮の内東遺跡—第4次発掘調査報告書ー | 小山市立博物館 |
| 74 | 大瀬戸町石碑製作所遺跡 | 立平 道 | 154 | よみがえる中世寺院—櫻崎寺跡の発掘調査ー | 足利市教育委員会 |
| 75 | 長崎県の農具調査(前編) | 立平 道 | 155 | 文選第十一号頃発掘調査報告書 | 足利市教育委員会 |
| 76 | 長崎県の農具調査(後編) | 立平 道 | 156 | 彦谷西山遺跡第1次発掘調査報告書 | 足利市教育委員会 |
| 77 | 上原遺跡 | 立平 道 | 157 | 平成7年 文化財保護年報 | 足利市教育委員会 |
| 78 | かがり松鼻遺跡 | 立平 道 | 158 | 口明塚古墳発掘調査報告書 | 足利市教育委員会 |
| 79 | 日ノ岳遺跡 | 立平 道 | 159 | 寺野東遺跡VI | 小山市教育委員会 |
| 80 | 長崎県の考古学—中・近世研究特集— | 立平 道 | 160 | 年報 平成8年度版 | 杉並区立郷土博物館 |

| | 書名 | 寄贈者 |
|-----|------------------------------|-------------------|
| 161 | 井伏鱒二と「萩庭風土記」の世界 | 杉並区立郷土博物館 |
| 162 | 江戸のこみ 東京のごみー杉並から見た廃棄物処理の社会史ー | 杉並区立郷土博物館 |
| 163 | 大東区の遺跡 | 大東区教育委員会 |
| 164 | 池之端七軒町道路(慶安寺跡) | 大東区教育委員会 |
| 165 | 志村城山道路第2・第3地点 発掘調査報告書 | 板橋区教育委員会 |
| 166 | 東京移大東区旧岩崎家住宅所在地跡 | 大東区教育委員会 |
| 167 | 中里貝塚ー鶯の縄文土器加工場ー | 東京都北区教育委員会 |
| 168 | 自向四谷道路II | 八王子市教育委員会 |
| 169 | 打越大塙遺跡II | 八王子市教育委員会 |
| 170 | 史跡治山城跡内側所改築事業報告書 | 八王子市教育委員会 |
| 171 | 六仙遺跡2 | 東久留米市教育委員会 |
| 172 | 小山山遺跡2 | 東久留米市教育委員会 |
| 173 | 川の碑、川の碑編集委員会 | 川の碑編集委員会 |
| 174 | くにたち郷土文化館年報 1 平成6・7年度 | くにたち郷土文化館 |
| 175 | 武蔵野市山形出土の縄文土器 | 武蔵野市立歴史民俗資料館 |
| 176 | 人間図室中庭改修作品展 | 港区立郷土資料館 |
| 177 | 三田豪農町・芝伊皿子町屋跡踏訪発掘調査報告書 | 港区立郷土資料館 |
| 178 | 平成6・6年度葛飾区埋蔵文化財調査年報 | 葛飾区調査会 |
| 179 | 板橋区文化財年報 2 | 板橋区教育委員会 |
| 180 | 東京大学構内遺跡調査研究年報1 | 東京大学埋蔵文化財調査室 |
| 181 | 八王子市埋蔵文化財年報 平成8年度 | 八王子市教育委員会 |
| 182 | 中道通下道路発掘調査報告書 | 中道通下道路発掘調査団 |
| 183 | ミクロネシアー南の島々の文化ー | 大田区立郷土博物館 |
| 184 | 大昔の大田区一原始・古代の道路ガイドブック | 大田区立郷土博物館 |
| 185 | 十条久保遺跡 発掘調査概報 | 十条久保遺跡発掘調査団 |
| 186 | 大田区立郷土博物館紀要、大田区立郷土博物館 | 大田区立郷土博物館 |
| 187 | 明治大学博物館研究報告第2号 | 明治大学博物館事務室 |
| 188 | 多摩ニュータウン道路 | 東京都埋蔵文化財センター |
| 189 | いたばしの文化財第4集 | 板橋区教育委員会 |
| 190 | 埋蔵文化財保護の手びき | 板橋区教育委員会 |
| 191 | 柴又河川敷遺跡3 | 葛飾区調査会 |
| 192 | 出光美術館館報 9B | 出光美術館 |
| 193 | 福生市の寺社美術品 | 福生市教育委員会 |
| 194 | まちの柴茶店ーくにたちの商店街づくり・街づくりー | くにたち郷土文化館 |
| 195 | 人類誌誌録 1997 | 東京都市立大学 |
| 196 | 真人原道路II | 東京都市立大学 |
| 197 | 南八王子市地区遺跡調査報告11 | 八王子市南部地区遺跡調査会 |
| 198 | 練馬区八ヶ谷戸遺跡第二次発掘 | 八ヶ谷戸遺跡調査会 |
| 199 | 春日町遺跡第V地点 | 文京区遺跡調査会 |
| 200 | 御殿前道路V | 東京都北区教育委員会 |
| 201 | 下十条遺跡 | 東京都北区教育委員会 |
| 202 | 赤塚下寺家番匠免道跡第1地点発掘調査報告書 | 板橋区教育委員会 |
| 203 | 杉並区立郷土博物館年報 第3号 | 杉並区立郷土博物館 |
| 204 | 杉並区立郷土博物館年報 第4・5号 | 杉並区立郷土博物館 |
| 205 | 学童団体訪問の経験IIー公の文書・記録を中心にしてー | 杉並区立郷土博物館 |
| 206 | 杉並区立郷土博物館年報 平成6・7年度 | 杉並区立郷土博物館 |
| 207 | 上野忍岡遺跡群 | 東京芸術大学 |
| 208 | 伊興遺跡 | 足立区伊興遺跡調査会 |
| 209 | 物見堀遺跡 1996 | 国学院大學考古学部考古研究室 |
| 210 | 物見堀遺跡 1997 | 国学院大學考古学部考古研究室 |
| 211 | 柳又遺跡A地点 第7次発掘調査報告書 | 国学院大學考古学部考古研究室 |
| 212 | 東光寺裏山遺跡発掘調査報告書 | 練馬区教育委員会 |
| 213 | 理蔵文化財調査報告12 平成8年度 | 東光寺裏山遺跡調査団 |
| 214 | 東光寺裏山遺跡発掘調査報告書 | 出光美術館 |
| 215 | 出土博物館館報 99 | 車石遺跡発掘調査団 |
| 216 | 車石遺跡発掘調査報告書 | 石川天野遺跡 |
| 217 | 石川天野遺跡 | 大田区立郷土博物館 |
| 218 | 弥次さん喜多さん探すを一族100人に聞く江戸時代の旅ー | 国学院大學 日本文化研究所紀要80 |
| 219 | 沙留遺跡 | 国学院大學 |
| 220 | 港郷土資料館館報15・ 平成8年度版 | 港区立郷土資料館 |
| 221 | 港区立郷土資料館研究紀要 4 平成8年 | 港区立郷土資料館 |
| 222 | 出土美術館館報 100 | 東京都港区教育委員会 |
| 223 | 出土美術館館報 第3号 | 出土美術館 |
| 224 | 人物埴輪の時代 埋蔵から探る歴史と武蔵の交流と地域性 | 出土美術館 |
| 225 | 葛飾区郷土と天文の博物館研究紀要 | 葛飾区郷土と天文の博物館 |
| 226 | 葛飾区郷土と天文の博物館研究紀要 | 葛飾区郷土と天文の博物館 |
| 227 | 葛飾区郷土と天文の博物館平成7年度博物館年報 第5号 | 葛飾区郷土と天文の博物館 |
| 228 | 品川歴史館 常設展示ガイド | 品川区立品川歴史館 |
| 229 | 出土博物館館報 101 | 出土博物館 |
| 230 | 甲野勇の軌跡 | くにたち郷土文化館 |
| 231 | 明治大学博物館 年報 1996年度 | 明治大学博物館 |
| 232 | 青山史學 第15号 | 青山学院大学文学部 |
| 233 | 志村坂上遺跡J地点発掘調査報告書 | 板橋区教育委員会 |
| 234 | かつしかの地誌! | 葛飾区郷土と天文の博物館 |
| 235 | ユネスコ世界遺産年報 1997-1998 | 社団法人日本ユネスコ全国連盟 |
| 236 | 国立歴史民俗博物館要覧 1997 | 国立歴史民俗博物館 |
| 237 | 鷺山入道跡210-1地点 | (財)山武郡市文化財センター |
| 238 | 森谷道路群(北野支群) | (財)山武郡市文化財センター |
| 239 | 上吹入城跡 | (財)山武郡市文化財センター |
| 240 | 油井古墳原道路 | (財)山武郡市文化財センター |
| 241 | 穂荷谷II遺跡 | (財)山武郡市文化財センター |
| 242 | 藤ヶ谷遺跡 大平台遺跡 中ノ台遺跡 馬場A遺跡 | (財)山武郡市文化財センター |
| 243 | 大堀山田遺跡群IV | (財)山武郡市文化財センター |
| 244 | 谷口遺跡・吹良遺跡 | (財)長生郡市文化財センター |
| 245 | 大久保遺跡 | (財)長生郡市文化財センター |

| | 書名 | 寄贈者 |
|-----|-----------------------------|-----------------|
| 246 | 横山白山台遺跡 | (財)長生郡市文化財センター |
| 247 | 土島田遺跡 | (財)長生郡市文化財センター |
| 248 | 道ケ谷の森と林 | 鎌ヶ谷市郷土資料館 |
| 249 | 大久保遺跡・本願寺遺跡 | 我孫子市教育委員会 |
| 250 | 夏見台遺跡 | 船橋市遺跡調査会 |
| 251 | 松戸市立博物館紀要 第4号 | 松戸市教育委員会 |
| 252 | 鎌ヶ谷市内遺跡発掘調査報告書 平成7・8年度 | 鎌ヶ谷市教育委員会 |
| 253 | 流山市上新宿貝塚 | 流山市教育委員会 |
| 254 | 平成6年度流山市内遺跡発掘調査報告書 | 流山市教育委員会 |
| 255 | 中野久木谷頭遺跡C地点 | 成田市教育委員会 |
| 256 | 平成6年度成田市内遺跡発掘調査報告書 | 和洋女子大学文化資料館 |
| 257 | 国府台? | 木更津市教育委員会 |
| 258 | 大畠台遺跡群発掘調査報告書2 | 木更津市教育委員会 |
| 259 | 中尾遺跡群発掘調査報告書3 | 木更津市教育委員会 |
| 260 | 千葉県木更津市内遺跡発掘調査報告書 | 木更津市教育委員会 |
| 261 | 塚原21号墳 | 木更津市教育委員会 |
| 262 | 富津市内遺跡発掘調査報告書 | 富津市教育委員会 |
| 263 | 萩ノ作跡発掘調査報告書 | 市川市教育委員会 |
| 264 | 平成元年度市川市埋蔵文化財発掘調査報告書 | 市川市教育委員会 |
| 265 | 庚塚遺跡第5地点 | 市川市教育委員会 |
| 266 | 根切遺跡 | 我孫子市教育委員会 |
| 267 | 鎌ヶ谷市史研究 第10号 | 鎌ヶ谷市教育委員会 |
| 268 | 写真が詰む野田の歴史と文化 | 野田市郷土博物館 |
| 269 | 加曾利貝塚 | 千葉市立加曾利貝塚博物館 |
| 270 | 和洋女子大学文化資料館収蔵資料図録一 | 和洋女子大学文化資料館 |
| 271 | 松戸市立博物館年報 第4号 平成8年度 | 松戸市立博物館 |
| 272 | 市川市出土物の分析ー古代の鉢・土器についてー | 市川市教育委員会 |
| 273 | 炎のくにの貝塚 | 千葉市立加曾利貝塚博物館 |
| 274 | 松尾城跡 I | (財)山武郡市文化センター |
| 275 | 山田・宝馬古墳群 | (財)山武郡市文化センター |
| 276 | 御田台遺跡 | (財)山武郡市文化センター |
| 277 | 根本遺跡 | (財)山武郡市文化センター |
| 278 | 大網山田台遺跡群III | (財)山武郡市文化センター |
| 279 | 東経文化財センター年報1(平成3・4年度) | (財)東経文化財センター |
| 280 | 三川倉塙前遺跡 | (財)東経文化財センター |
| 281 | 近代の俳人たちと柏原 | 春日部市郷土資料館 |
| 282 | 郷土出身の画師 岩井彌一郎 | 春日部市郷土資料館 |
| 283 | 与野考古学事典—よみがえる歴史— | 与野市教育委員会 |
| 284 | 与野禁盛—歌の流れる街— | 与野市教育委員会 |
| 285 | 諸家文書目録 大宗(その一) | 板戸市教育委員会 |
| 286 | 所沢市立埋蔵文化財調査センター年報2 | 所沢市立埋蔵文化財調査センター |
| 287 | 浦和くらしの博物館民家園—要算一 | 浦和くらしの博物館民家園 |
| 288 | 伊佐島遺跡第2次の調査 | 上福岡市遺跡調査会 |
| 289 | 松山遺跡第20次調査 | 上福岡市遺跡調査会 |
| 290 | 赤山 古墳地図 | 川口市遺跡調査会 |
| 291 | 赤山 写真団版編 | 川口市遺跡調査会 |
| 292 | 赤山 本文編・第1分冊 | 川口市遺跡調査会 |
| 293 | 赤山 本文編・第2分冊 | 川口市遺跡調査会 |
| 294 | 旧浦和市農業組合組合三支空所倉庫移築復原工事報告書 | 浦和ららの博物館民家園 |
| 295 | 新井宿下一斗薪遺跡 | 川口市遺跡調査会 |
| 296 | 市内遺跡調査報告3-東の上遺跡第71次- | 所沢市教育委員会 |
| 297 | 後内手遺跡-第一回調査 東の上遺跡-第一回38次調査- | 所沢市教育委員会 |
| 298 | 和田遺跡-第18回調査- | 所沢市教育委員会 |
| 299 | 和田遺跡-第20回調査- | 所沢市教育委員会 |
| 300 | 春日部市郷土資料館館報 第5号 | 春日部市郷土資料館 |
| 301 | 春日の文化 | 春霞市教育委員会 |
| 302 | 奥住家文書目録 | 朝霞市教育委員会 |
| 303 | 比留間家文書目録 | 朝霞市教育委員会 |
| 304 | 下津弘文庫目録(1) | 春日部市郷土資料館 |
| 305 | 中道・中道下遺跡第2地点 分附上・井財谷遺跡第2地点 | 春日部市郷土資料館 |
| 306 | 浜川戸遺跡18次 小山下遺跡 花積内谷耕地跡4次 | 春日部市教育委員会 |
| 307 | 諸家文書目録 大宗(その二) | 板戸市教育委員会 |
| 308 | 若葉台遺跡-若葉台遺跡発掘調査報告書III- | 板戸市教育委員会 |
| 309 | 若葉台遺跡-若葉台遺跡発掘調査報告書IV- | 板戸市教育委員会 |
| 310 | 群馬県立歴史博物館紀要 第18号 | 群馬県立歴史博物館 |
| 311 | 芝宮古墳群(富岡64号墳) | 富岡市教育委員会 |
| 312 | 東八木遺跡、岡脇岡、楓原塚遺跡 | 富岡市教育委員会 |
| 313 | 大田市の文化財 | 大田市教育委員会 |
| 314 | 中筋遺跡-第11-12次発掘調査- | 大田市教育委員会 |
| 315 | 宮地中田遺跡 | 前橋市教育委員会 |
| 316 | 六供下堂木I遺跡 | 前橋市教育委員会 |
| 317 | 平成8年度市内遺跡発掘調査報告書 | 前橋市教育委員会 |
| 318 | 小坂子油田 I・II遺跡 | 前橋市教育委員会 |
| 319 | 稻荷前遺跡 | 前橋市教育委員会 |
| 320 | 總社愛宕山遺跡 | 前橋市教育委員会 |
| 321 | 小二子古墳 | 前橋市教育委員会 |
| 322 | 大星遺跡V | 前橋市教育委員会 |
| 323 | 中筋遺跡-第8次 9次 | 法川市教育委員会 |
| 324 | 市内遺跡X | 法川市教育委員会 |
| 325 | 八木原久保遺跡 | 法川市教育委員会 |
| 326 | 半田赤地前遺跡 | 法川市教育委員会 |
| 327 | 市内遺跡Y | 法川市教育委員会 |
| 328 | 上野原分寺道遺跡 | 前橋市教育委員会 |
| 329 | 越光銘塚引道跡 | 前橋市教育委員会 |
| 330 | 横浜市歴史博物館 紀要第2号 | 横浜市歴史博物館 |

| | 書名 | 寄贈者 | | 書名 | 寄贈者 |
|-----|-----------------------------------|-------------------|-----|--|-----------------|
| 331 | 横浜市歴史博物館 紀要 | 横浜市歴史博物館 | 416 | 詩情の洋画家 曽當一念と致賀 | 致賀市立博物館 |
| 332 | 海からの江戸時代—神奈川湊と海の道一 | 横浜市歴史博物館 | 417 | 致賀市立博物館 紀要 第12号 | 致賀市立博物館 |
| 333 | 鉄製品の生産・流通と武士団 | 横浜市歴史博物館 | 418 | 経済の跡文庫 | 致賀市立博物館 |
| 334 | 木綿本牧村絵図データ集 | 横浜市歴史博物館 | 419 | 第3回 西福寺宝物展 | 致賀市立博物館 |
| 335 | 江戸時代の横浜の姿 | 横浜市歴史博物館 | 420 | 上野市埋蔵文化財年報3 | 上野市教育委員会 |
| 336 | 横須賀市リサーチパーク計画基盤整備事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書 | 横須賀市教育委員会 | 421 | 追越遺跡発掘調査報告 | 上野市教育委員会 |
| 337 | 吉井・池田地区道路群 I | 横須賀市教育委員会 | 422 | 上野城址発掘調査報告 | 上野市教育委員会 |
| 338 | 吉井・池田地区道路群 II | 横須賀市教育委員会 | 423 | 埋蔵文化財発掘調査概報 I | 日田市教育委員会 |
| 339 | 橋本遺跡 | 相模原市教育委員会 | 424 | 大森遺跡 | 鶴山市教育委員会 |
| 340 | 大島上ノ原遺跡 | 相模原市教育委員会 | 425 | 龜山市歴史博物館年報 第2号 | 龜山市歴史博物館 |
| 341 | 川崎市民ミュージアム紀要 第9集 | 川崎市民ミュージアム | 426 | 龜山市歴史博物館年報第3号 平成8年度 | 龜山市歴史博物館 |
| 342 | 平塚市博物館年報 20 | 平塚市博物館 | 427 | 皇學館大学 神道博物館館報 第8号 | 皇學館大学神道博物館 |
| 343 | 自然と文化 | 平塚市博物館 | 428 | 鳥一飛翔と静恵の美一 | 式年遷宮記念神宮美術館 |
| 344 | 横浜市歴史博物館資料目録 第4集 | 横浜市歴史博物館 | 429 | 式年遷宮記念神宮美術館 図録 | 式年遷宮記念神宮美術館 |
| 345 | 谷戸と茅ヶ丘—芦塚区名湖一 | 横浜市歴史博物館 | 430 | 四日市市文化財保護年報 7 | 四日市市教育委員会 |
| 346 | 横浜市歴史博物館資料目録 第5集 | 横浜市歴史博物館 | 431 | 津市埋蔵文化財センター年報1 | 津市埋蔵文化財センター |
| 347 | 稲荷前B遺跡他 | 平塚市教育委員会 | 432 | 櫻土の文化 少し前の歩みを歩く1 | 久居市教育委員会 |
| 348 | 御領宮遺跡 | 平塚市教育委員会 | 433 | 蓮華寺跡推定地遺跡発掘調査報告 | 上野市教育委員会 |
| 349 | 厚木遺跡—第4地点一 | 平塚市教育委員会 | 434 | 比士遺跡発掘調査報告 | 上野市教育委員会 |
| 350 | 山王久保遺跡 | 平塚市教育委員会 | 435 | 鶴山宿 開宿のされい | 鶴山市歴史博物館 |
| 351 | 堤谷原・高林寺遺跡他 | 平塚市教育委員会 | 436 | 大山窯発掘調査報告書 | 小牧市教育委員会 |
| 352 | 東海大学校地内遺跡調査団報告7 | 東海大学 | 437 | 愛知県小牧市遺跡範囲確認調査報告書6 | 小牧市教育委員会 |
| 353 | 水尻遺跡 | 東海大学 | 438 | リトルワールド年報 第19号 | 野外民族植物園リトルワールド |
| 354 | 中里遺跡第III地点発掘調査報告書 | 小田原市教育委員会 | 439 | 平成8年度蒲原市埋蔵文化財センター年報 | (財)蒲原市埋蔵文化財センター |
| 355 | 小田原城三の丸 長屋敷第1地点 | 小田原市教育委員会 | 440 | 安城市歴史博物館 研究紀要1994 | 安城市歴史博物館 |
| 356 | 物見塚古墳発掘調査報告書 | 小田原市教育委員会 | 441 | 安城市歴史博物館 研究紀要1996 | 安城市歴史博物館 |
| 357 | 埋蔵文化財博津調査概要集 V 八幡神社遺跡II | 相模原市教育委員会 | 442 | 安城市歴史博物館 年報 第2号 | 安城市歴史博物館 |
| 358 | 問答ヶ原遺跡 | 相模原市教育委員会 | 443 | 安城市歴史博物館 年報 第3号 | 安城市歴史博物館 |
| 359 | 駒場遺跡第47次調査 | 相模原市教育委員会 | 444 | 安城市歴史博物館 年報 第4号 | 安城市歴史博物館 |
| 360 | 相模原市No.195遺跡発掘調査報告書 | 相模原市教育委員会 | 445 | 安城市歴史博物館 年報 第5号 | 安城市歴史博物館 |
| 361 | 相模原市No.27遺跡発掘調査報告書 | 相模原市教育委員会 | 446 | 市道遺跡(1) | 豊橋市教育委員会 |
| 362 | 横山5丁目遺跡 | 相模原市教育委員会 | 447 | 公文遺跡(3)・牛呂城址 | 豊橋市教育委員会 |
| 363 | 藤沢市文化財調査報告書 第32集 | 藤沢市教育委員会 | 448 | 大西町跡 | 豊橋市教育委員会 |
| 364 | 早川故跡発掘調査報告書 | 早川城址調査会 | 449 | 椎原山 | 豊橋市教育委員会 |
| 365 | 仏のすき空間—古代駒ヶ岳の仏教信仰一 | 上高津貝塚ふるさと歴史の広場 | 450 | 木の貝塚 | 豊橋市教育委員会 |
| 366 | 石橋南遺跡 第7集 | 上高津貝塚ふるさと歴史の広場 | 451 | 名古屋大学古川綜合研究資料館報告第6号 | 名古屋大学古川綜合研究資料館 |
| 367 | 土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の廣場年報 第1号 | 上高津貝塚ふるさと歴史の広場 | 452 | 愛知県東海市東浦埋蔵試掘調査報告 | 愛知県東海市教育委員会 |
| 368 | 土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の廣場年報 第2号 | 上高津貝塚ふるさと歴史の広場 | 453 | 同前遺跡 | 知立市教育委員会 |
| 369 | 土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の廣場要覧 | 上高津貝塚ふるさと歴史の広場 | 454 | 己・池遺跡・返万堆遺跡発掘調査報告 | 知立市教育委員会 |
| 370 | 古河歴史博物館年報 6 平成8年度 | 古河歴史博物館 | 455 | 小針遺跡 II | 知立市教育委員会 |
| 371 | 人形名探 横浜人形の家コレクション | 土浦市立博物館 | 456 | 安城市歴史博物館 常設展示案内 | 安城市歴史博物館 |
| 372 | 上高津貝塚 | 土浦市教育委員会 | 457 | 掘り出された安城の歴史 | 安城市歴史博物館 |
| 373 | 神々への祈り—土浦の信仰と美術一 | 土浦市立博物館 | 458 | 古代集落道路を掘る—西三河のムラと都一 | 安城市歴史博物館 |
| 374 | ひたちなか市埋蔵文化財調査センター 年報 第2号 | ひたちなか市埋蔵文化財調査センター | 459 | 弥生の草 バレススタイル土器 | 安城市歴史博物館 |
| 375 | 長垂遺跡 第3集 | 土浦市教育委員会 | 460 | 広重の江戸名所 | 安城市歴史博物館 |
| 376 | 入ノ上遺跡 | 土浦市教育委員会 | 461 | 土のキャンスター焼文土器のデザイナー | 安城市歴史博物館 |
| 377 | 幼稚園誕生—土浦幼稚園と明治期の教育玩具一 | 土浦市立博物館 | 462 | 愛知の古世土器 深美・常滑・瀬戸 | 安城市歴史博物館 |
| 378 | 婆々懐遺跡発掘調査報告書 | 小千谷市教育委員会 | 463 | 西善寺文書 | 安城市教育委員会 |
| 379 | NKH 長岡市立科学博物館年報 No.71 | 長岡市立科学博物館 | 464 | 頃のメッセージ | 安城市歴史博物館 |
| 380 | 縄文時代の信仰—土偶と石棒— | 長岡市立科学博物館 | 465 | 新のメッセージ | 安城市歴史博物館 |
| 381 | 縄文土器 | 長岡市立科学博物館 | 466 | 安祥城址一発掘調査報告書一 | 安城市教育委員会 |
| 382 | 来迎寺遺跡 | 三条市教育委員会 | 467 | 御用地遺跡 | 安城市教育委員会 |
| 383 | 上野遺跡 I X | 飯山市教育委員会 | 468 | 名古屋市博物館 年報 平成8年度 | 名古屋市博物館 |
| 384 | 法伝寺2号古墳 | 飯山市教育委員会 | 469 | 名古屋市博物館 研究紀要 第20号 | 名古屋市博物館 |
| 385 | 小池遺跡 II・一つ家遺跡 | 松本市教育委員会 | 470 | 埋蔵文化財調査報告書24 伊勢山中学校遺跡 | 名古屋市教育委員会 |
| 386 | エリ穴遺跡 | 松本市教育委員会 | 471 | 埋蔵文化財調査報告書25 斎藤遺跡・桜台高校遺跡・新小学校遺跡・忍古野山古墳 | 名古屋市教育委員会 |
| 387 | 堀尾遺跡 X I | 松本市教育委員会 | 472 | 埋蔵文化財調査報告書26 高蔵遺跡 | 名古屋市教育委員会 |
| 388 | 伊勢町第8・9・12次 水町第1・2次 | 松本市教育委員会 | 473 | 曾池遺跡 | 名古屋市教育委員会 |
| 389 | 栗林遺跡 第10次発掘調査報告書 | 中野市教育委員会 | 474 | 名古屋城三の丸遺跡 第8・9次発掘調査概要報告書 | 名古屋市教育委員会 |
| 390 | 栗林遺跡 第9次発掘調査報告書 | 中野市教育委員会 | 475 | 清水寺遺跡第5次発掘調査報告書 | 名古屋市教育委員会 |
| 391 | 栗林遺跡 発掘調査報告書 | 中野市教育委員会 | 476 | H-22号発掘調査報告書 | 名古屋市教育委員会 |
| 392 | 古代・中世の折衷—音寺寺信仰と北信濃一 | 長野市立博物館 | 477 | 伊勢山中学校遺跡一第6次発掘調査の概要一 | 名古屋市教育委員会 |
| 393 | 日本国有鉄道小千谷第2発電所予定地内埋蔵文化財緊急発掘調査報告書 | 佐久市教育委員会 | 478 | 磐三造通跡第一回13回調査の概要一 | 名古屋市教育委員会 |
| 394 | 佐久市埋蔵文化財年報5 平成7年度 | 岡谷市教育委員会 | 479 | 平成7年度 尾張元寺跡発掘調査報告書 | 名古屋市教育委員会 |
| 395 | 梨久保・西面外・郷田・海戸遺跡発掘調査報告書(横須) | 佐久市教育委員会 | 480 | 見晴台教室 '96 | 名古屋市見晴台考古資料館 |
| 396 | 池端城址 | 佐久市教育委員会 | 481 | 名古屋市見晴台考古資料館年報14 | 知立市教育委員会 |
| 397 | 寺中道路・中屋敷遺跡II | 佐久市教育委員会 | 482 | 立石市歴史民俗資料館年報 平成8年度 | 桜ヶ丘ミュージアム |
| 398 | 鹿塙遺跡 III | 佐久市教育委員会 | 483 | 桜ヶ丘ミュージアム年報 平成8年度 | 常滑市民俗資料館 |
| 399 | 坪の内道路 | 佐久市教育委員会 | 484 | 朱泥龍巖展—常滑賀茂陶器の始まり | 愛知県清洲貝塚山貝塚資料館 |
| 400 | 円正坊遺跡II | 佐久市教育委員会 | 485 | 朝日遺跡を掘る'95-'96の調査述報一 | 尾張旭市教育委員会 |
| 401 | 街内道路発掘調査報告書1995 | 佐久市教育委員会 | 486 | 浅川城跡 浅川遺跡 | 名古屋市博物館 |
| 402 | 番屋前道路 I・II | 佐久市教育委員会 | 487 | 印場城跡 | 名古屋市博物館 |
| 403 | 聖所遺跡 X | 佐久市教育委員会 | 488 | 館藏品百選 | 犬山市教育委員会 |
| 404 | 高師町遺跡 II | 佐久市教育委員会 | 489 | 三光寺遺跡発掘調査報告書 | 名古屋大学古川綜合研究資料館 |
| 405 | 竹浦遺跡II | 松本市教育委員会 | 490 | 名古屋大学古川綜合研究資料館報告 第13号 | 名古屋市博物館 |
| 406 | 伊那谷の馬 科野の馬—古墳時代における受容と広がり— | 松本市美術博物館 | 491 | あゆち湯の古代 | 名古屋市博物館 |
| 407 | 長野市文化地図マップ | 長野市立科学博物館 | 492 | 大西貝塚 (II) | 豊橋市教育委員会 |
| 408 | 長野市立博物館紀要 第4号 1997 | 長野市立博物館 | 493 | 中村遺跡・作神道遺跡 | 豊橋市教育委員会 |
| 409 | 牧賀祭礼の山車 | 牧賀祭礼委員会 | 494 | 大海津遺跡 (II) | 豊橋市教育委員会 |
| 410 | 福井市立郷土歴史博物館 研究紀要第5号 | 福井市立郷土日置市博物館 | 495 | 若宮遺跡 | 豊橋市教育委員会 |
| 411 | 福井市立郷土歴史博物館年報 第22号 | 福井市立郷土日置市博物館 | 496 | 市道道路 (II) | 豊橋市教育委員会 |
| 412 | 福井市立郷土歴史博物館年報 復刊第22号 | 福井市立郷土歴史博物館 | 497 | 特別展 祖父母から孫に伝えたい沿革の暮らし | 豊岡市立登昌博物館 |
| 413 | 福井市立郷土歴史博物館研究紀要 第5号 | 福井市立郷土歴史博物館 | 498 | 金山遺跡・大賀茂遺跡 | 下田市教育委員会 |
| 414 | 福井県立博物館紀要 第5号 | 福井県立博物館 | 499 | 原ノ平遺跡 | 島田市教育委員会 |
| 415 | 福井県立博物館年報 第6号 | 福井県立博物館 | 500 | 青木原遺跡 | 島田市教育委員会 |

| | 書名 | 寄贈者 | | 書名 | 寄贈者 |
|-----|---------------------------|-----------------|-----|--------------------------------|----------------|
| 500 | 大鳥遺跡 | 島田市教育委員会 | 596 | 魚田遺跡第1次・第2次発掘調査概要 | 恩文閣 |
| 501 | 向山遺跡 | 島田市教育委員会 | 597 | 恩文閣蔵資料目録 | 加悦町古墳公園はにわ資料館 |
| 502 | 八幡山根穴群 | 袋井市教育委員会 | 598 | 徹底検証 日本最大古墳がなぜ後につくられたのか その謎に迫る | 加悦町古墳公園はにわ資料館 |
| 503 | 静岡県埋蔵文化財調査研究所 研究紀要 第5号 | 財团法人大垣文化財調査研究会 | 599 | 加悦町遺跡発掘調査報告 1995年度 | 加悦町古墳公園はにわ資料館 |
| 504 | 静岡県埋蔵文化財調査研究所 研究紀要 X III | 財团法人大垣文化財調査研究会 | 600 | 白糸山古墳 I | 宇治市歴史資料館 |
| 505 | 静岡市立登呂博物館館報 平成8年度一 | 静岡市立登呂博物館 | 601 | 宇治市歴史資料館年報 平成8年度 | 八幡市教育委員会 |
| 506 | 登呂の弥生人一件として学ぶ農村の暮らし | 静岡市立登呂博物館 | 602 | 上原真遺跡第2次発掘調査概要 | 八幡市教育委員会 |
| 507 | 静岡の原像をさぐる発掘調査報告会 | 静岡県教育委員会 | 603 | 八幡市埋蔵文化財発掘調査報告 第23集 | 尼崎市教育委員会 |
| 508 | 滝口遺跡 | 富士宮市教育委員会 | 604 | 道ノ下遺跡(第7次) | 神戸市教育委員会 |
| 509 | 三崎大社境内遺跡第3地点 | 三島市教育委員会 | 605 | 平成6年度 神戸市埋蔵文化財年報 | 神戸市教育委員会 |
| 510 | 小平C遺跡 | 三島市教育委員会 | 606 | 平成6年度 神戸市埋蔵文化財年報 | 播磨町郷土資料館 |
| 511 | 静岡市立三島市文化財年報 第8号 | 三島市教育委員会 | 607 | 上郡町教育委員会 | 上郡町教育委員会 |
| 512 | 下村加茂遺跡発掘調査報告書 | 下村教育委員会 | 608 | (財)黒川吉文化研究所 | (財)黒川吉文化研究所 |
| 513 | 平成8年度水見市立博物館年報第15号 | 水見市立博物館 | 609 | 発掘されたかみごおり | 龍野市教育委員会 |
| 514 | 佐渡一島の自然くらし・文化ー | 両津市郷土博物館 | 610 | 第一柄谷から和泉の源流に遡るー | 伊丹市教育委員会 |
| 515 | 水見市埋蔵文化財分布調査報告 I V | 水見市教育委員会 | 611 | 南山古墳群 南山高屋遺跡 | 伊丹市教育委員会 |
| 516 | 松木浦跡発掘調査報告 | 新湊市教育委員会 | 612 | 有岡城址・伊丹城跡V | 伊丹市教育委員会 |
| 517 | 櫻塚I遺跡 第3.4次発掘調査報告書 | 舟橋村教育委員会 | 613 | 福原京とその時代 | 神戸市教育委員会 |
| 518 | 出遺跡発掘調査報告書 | 魚津市教育委員会 | 614 | 魚崎中町遺跡(第3次調査) | 川西市教育委員会 |
| 519 | 鶴田家文書 その四 | 水見市立博物館 | 615 | 平成8年度 川西市発掘調査概要報告 | 三田市教育委員会 |
| 520 | 朝日貝塚II | 水見市教育委員会 | 616 | 屋敷町遺跡 | 八尾市立歴史民俗資料館 |
| 521 | 朝日貝塚III | 水見市教育委員会 | 617 | 館蔵民具 衣食住の用具 | 大阪府立近づ飛鳥博物館 |
| 522 | 水貝のさかなを描く | 水見市立博物館 | 618 | こふんせなにブック | 八尾市立歴史民俗資料館 |
| 523 | 高岡市立将物館年報 第11号 平成8年度 | 高岡市立博物館 | 619 | 八尾市立歴史民俗資料館開館10周年記念史 | 八尾市立歴史民俗資料館 |
| 254 | 綱文のなりわい道具から見た暮らし | 富山県埋蔵文化財センター | 620 | 大阪府立近づ飛鳥情報館 館報3 | 大阪府立近づ飛鳥博物館 |
| 525 | 富山市考古資料館年報 No.31 1997 | 富山市考古資料館 | 621 | 中垣内遺跡発掘調査報告書 | 大東市教育委員会 |
| 526 | 富山市考古資料館紀要 第17号 | 富山市考古資料館 | 622 | (財)八尾市文化財調査研究会報告54 | (財)八尾市文化財調査研究会 |
| 527 | 来世への旅立ち | 水見市立博物館 | 623 | (財)八尾市文化財調査研究会報告55 | (財)八尾市文化財調査研究会 |
| 528 | 安江町遺跡 | 金沢市教育委員会 | 624 | (財)八尾市文化財調査研究会報告56 | (財)八尾市文化財調査研究会 |
| 529 | 金沢市松本遺跡(第2次) | 金沢市教育委員会 | 625 | 平成8年度 (併)八尾市文化財調査研究会報告 | 大阪府立近づ飛鳥博物館 |
| 530 | 金沢市本町一丁目遺跡 II | 金沢市教育委員会 | 626 | こふんせなに教室 | 大阪府立近づ飛鳥博物館 |
| 531 | 戸水遺跡群 | 金沢市教育委員会 | 627 | 大阪府立近づ飛鳥博物館館報 2 | 関西大学博物館 |
| 532 | モダンの調べ 蒲音根 | 石川県立歴史博物館 | 628 | 関西大学博物館紀要 第3号 | 八尾市立歴史民俗資料館 |
| 533 | 石川県立歴史博物館紀要 第10号 | 石川県立歴史博物館 | 629 | 八尾市立歴史民俗資料館研究紀要 第8号 | 高槻市教育委員会 |
| 534 | 平成8年度 金沢市埋蔵文化財調査年報 | 金沢市教育委員会 | 630 | 高槻市文化財年報 平成8年度 | (財)枚方市文化財研究会 |
| 535 | 甲骨・刀・刀装具 加賀藩の技とデザイン | 石川県立歴史博物館 | 631 | (財)枚方市文化財研究会調査会 研究紀要 第4集 | (財)枚方市文化財研究会 |
| 536 | 長者川遺跡 | 羽咋市教育委員会 | 632 | 枚方市文化財年報 18 | 大阪府立近づ飛鳥博物館 |
| 537 | 松任市宮水ほじ川遺跡(本文・写真集) | 松任市教育委員会 | 633 | 史跡池上曾根遺跡史跡指定20周年記念事業の記録 | 四天王寺 |
| 538 | 松任市橋爪ガシノアラ遺跡III | 松任市教育委員会 | 634 | 4天王寺 | 大谷女子大学資料館 |
| 539 | 松任市宮水ほじ川遺跡II | 松任市教育委員会 | 635 | よつるのかたち一古墳・飛鳥の人と神ー | 大阪府立近づ飛鳥博物館 |
| 540 | 松任市横江古屋敷遺跡III | 松任市教育委員会 | 636 | 平成8年度 発掘調査概要 | 岸和田市教育委員会 |
| 541 | 松任市平川B遺跡 | 松任市教育委員会 | 637 | 想一十年を振り返ってー | 岸和田市教育委員会 |
| 542 | 松任市竹松遺跡 | 松任市教育委員会 | 638 | 泉大津市埋蔵文化財発掘調査班報15 | 泉大津市教育委員会 |
| 543 | 松任市源波遺跡II | 松任市教育委員会 | 639 | 八尾市内遺跡平成8年度発掘調査報告書 I | 八尾市教育委員会 |
| 544 | 太子振興と北陸一聖德太子へのあがれー | 石川県立歴史博物館 | 640 | 八尾市内遺跡平成8年度発掘調査報告書2 | 八尾市教育委員会 |
| 545 | 珠珠市大谷町遺跡 | 石川県立歴史博物館 | 641 | 遠磨窯一瓦匠のわざ400年ー | 吹田市教育委員会 |
| 546 | 埋蔵文化財出土品展 | 石川県立歴史博物館 | 642 | 青銅の弥生都市—吉野ヶ里をめぐる有明のケニグニー | 大阪府立弥生文化博物館 |
| 547 | 曾根八千利遺跡 | 大垣市教育委員会 | 643 | 泉南市信達墓地・信達越前地区民俗資料調査報告 | 泉南市教育委員会 |
| 548 | 豊坂大塙古墳II 韓国確認調査概要ー平成7年度ー | 大垣市教育委員会 | 644 | 泉南市信達墓地民俗資料調査報告書 X III | 泉南市教育委員会 |
| 549 | 大垣市埋蔵文化財調査概要 平成7年度 | 大垣市教育委員会 | 645 | 仏教の受容と古代国家ー日本古代国家の成立を探る3ー | 泉南市教育委員会 |
| 550 | 豊坂大塙古墳III 韩国確認調査概要ー平成8年度ー | 大垣市教育委員会 | 646 | 豊岡・西・兵の松遺跡発掘調査報告書 | 泉南市教育委員会 |
| 551 | 平成8年度 岐阜市歴史博物館年報 No.11 | 岐阜市歴史博物館 | 647 | 泉南市文化財年報 | 泉南市教育委員会 |
| 552 | 岐阜県博物館年報 第20号 | 岐阜県博物館 | 648 | 門真市教育委員会 | 門真市教育委員会 |
| 553 | 岐阜県博物館年報 第18号 | 岐阜県博物館 | 649 | 昔賢寺遺跡発掘調査概要1 | 門真市教育委員会 |
| 554 | 坊の塙古墳周濠跡確認調査報告書 | 各務原市埋蔵文化財調査センター | 650 | 昔賢寺遺跡発掘調査概要2 | 門真市教育委員会 |
| 555 | 村雨町隅田川地区発掘調査報告書 | 各務原市埋蔵文化財調査センター | 651 | 門真市風波遺跡発掘調査概要 | 門真市教育委員会 |
| 556 | 大原5号窯発掘調査報告書 | 多治見市教育委員会 | 652 | 西三莊・八雲東遺跡発掘調査概要 | 門真市教育委員会 |
| 557 | 明和40-41号窯発掘調査報告書 | 多治見市教育委員会 | 653 | 泉南市須崎群発掘調査報告者 X II | 泉南市教育委員会 |
| 558 | 多治見市文化財保護センター研究紀要 第3号 | 多治見市教育委員会 | 654 | 古文書・繪図にみる近世の常光寺 | 八尾市立歴史民俗資料館 |
| 559 | 根本遺跡II | 多治見市教育委員会 | 655 | 貝塚市遺跡群発掘調査概要19 | 貝塚市教育委員会 |
| 560 | 播磨町郷土資料館 館報 平成9年度 | 播磨町郷土資料館 | 656 | 加治・神前・島中遺跡発掘調査概要 | 貝塚市教育委員会 |
| 561 | 御坊市歴史民俗資料館 館報8 | 御坊市教育委員会 | 657 | 浪新聞遺跡発掘調査概要 | 貝塚市教育委員会 |
| 562 | 日高ゆかりの世人 | 御坊市教育委員会 | 658 | 富田林の足跡化石 | 富田林市教育委員会 |
| 563 | 石垣と石堀—岩楊千塚の横穴式石室をさぐるー | 御坊市教育委員会 | 659 | 富田市立歴史資料館館報 第8号 | 柏原市立歴史資料館 |
| 564 | 紀伊風土記の丘年報 第23号 | 紀伊風土記の丘管理事務所 | 660 | 碧跡呼誕生 | 大阪府立弥生文化博物館 |
| 565 | 平成8年度 岩出町内遺跡発掘調査概要 | 岩出町教育委員会 | 661 | 井戸の中のをのぞいてみよう | 柏原市立歴史資料館 |
| 566 | 荷荷山古墳ほか | 御坊市教育委員会 | 662 | 平成8年度 富田林市内遺跡群発掘調査報告書 | 富田林市教育委員会 |
| 567 | 和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報3 | 御坊市教育委員会 | 663 | 平成7年度 富田林市内遺跡群発掘調査報告書 | 富田林市教育委員会 |
| 568 | 和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報4 | 御坊市教育委員会 | 664 | 岸志西遺跡 | 柏原市立歴史資料館 |
| 569 | 太田・黒田遺跡 第33・34次発掘調査概要 | 御坊市教育委員会 | 665 | 大阪府柏原市柏原元家文書目録 | 柏原市立歴史資料館 |
| 570 | 府中IV遺跡 第2次発掘調査概要 | 御坊市教育委員会 | 666 | 安満宮山古墳 | 柏原市立歴史資料館 |
| 571 | 平成2年度 山田瓦窯跡発掘調査概要 第1次 | 橋本市遺跡調査会 | 667 | 樹体天皇と今城塚古墳 | 高槻市教育委員会 |
| 572 | 平成3年度 市船遺跡発掘調査概要 第6次 | 橋本市遺跡調査会 | 668 | 古墳の科学捜査ー行者塙古墳発掘調査ー | 大阪府立近づ飛鳥博物館 |
| 573 | 平成4年度 橋本市遺跡発掘調査概要 | 橋本市遺跡調査会 | 669 | 「あれわら」 「交差」ー古代律令国家とみちのくの文化ー | 大阪府立近づ飛鳥博物館 |
| 574 | 平成7・8年度 血縄遺跡発掘調査概要 | 橋本市遺跡調査会 | 670 | 車跡呼誕生 那馬台国は越内にあった? | 大阪府立近づ飛鳥博物館 |
| 575 | 紀伊国大野城一中世の海南と城跡発掘一 | 奈良市立歴史民俗資料館 | 671 | 中国古代文明の輝き—玉と青銅と土の芸術ー | 大阪府立弥生文化博物館 |
| 576 | 古代のくらしきつむ 須恵器 | 京都府立丹後郷土資料館 | 672 | 弥生文化博物館鑑賞 平成8年度 | 大阪府立弥生文化博物館 |
| 577 | 情報の発信・受信、それは道 | 亀岡市教育委員会 | 673 | 北新町遺跡第3次発掘調査概要報告書 | 吹田市立博物館 |
| 578 | 大垣川探査 | 亀岡市文化資料館 | 674 | 寺川遺跡発掘調査報告書 | 大東市教育委員会 |
| 579 | 丸岡の宝物 | 亀岡市文化資料館 | 675 | 北新町遺跡発掘調査報告書 | 大東市教育委員会 |
| 580 | 上京・西大路町遺跡の御所跡隣接地点の発掘 | 同志社大学地質調査委員会 | 676 | 久宝寺遺跡 | 奈良市教育委員会 |
| 581 | | | 677 | 北新町遺跡発掘調査報告書 | 奈良市教育委員会 |
| 582 | | | 678 | (財)八尾市文化財調査研究会報告57 | (財)八尾市文化財調査研究会 |
| 583 | | | 679 | (財)八尾市文化財調査研究会報告58 | (財)八尾市文化財調査研究会 |
| 584 | | | 680 | 奈良県御所市室宮山古墳範囲確認調査報告 | 御所市教育委員会 |
| 585 | | | 681 | | |

| 書名 | 寄贈者 | 書名 | 寄贈者 |
|-----------------------------|-----------------|-----------------------------------|-----------------|
| 月刊 発掘情報 '97.9 | 古代文化研究会 | 全国郷土玩具展一括口準一氏 寄贈玩具を中心として一 | 高松市歴史資料館 |
| 奈良国立文化財研究所年報 1997-II | 奈良国立文化財研究所 | 須崎道路(吾妻郷地区)埋蔵文化財調査報告書 | 高松市歴史文化財調査センター |
| 大和の高殿—湯谷鶴から飛雲鶴へ— | (財)桜井市文化財協会 | 長欲古墳群 | 高松市歴史文化財調査センター |
| 長寺遺跡の弥生人骨—第10次調査に伴う中間報告書— | 天理市教育委員会 | 小曾道路II | 高松市歴史文化財調査センター |
| 天理参考館報 第10号 | 天理大学附属天理参考館 | 林口道跡 | 土佐市教育委員会 |
| 櫛向の時代—最近の発掘調査から～ | 桜井市立埋蔵文化財センター | 洋志古窓群 | 垂信町教育委員会 |
| 田原市埋蔵文化財調査年報5 1994-1995年度 | 田原本町教育委員会 | 平成8年度 愛媛県歴史文化博物館年報 | 愛媛県歴史文化博物館 |
| 柏原市埋蔵文化財発掘調査報告 1996年度 | 柏原市教育委員会 | 愛媛県歴史文化博物館研究紀要 第2号 | 愛媛県歴史文化博物館 |
| 柏原市所在遺跡発掘調査概報 1996年度 | 柏原市教育委員会 | 小野川流域の遺跡一本文稿一 | 松山市教育委員会 |
| 重要文化財安福寺石棺保存整備事業報告 | 柏原市教育委員会 | 小野川流域の遺跡一回版稿一 | 松山市教育委員会 |
| 大縣の鉄 | 柏原市教育委員会 | 中村松田遺跡 | 松山市教育委員会 |
| 唐古・健道路 1-櫛道編一 | 田原本町教育委員会 | 桑原地区的道路III | 松山市教育委員会 |
| 平成8年度 唐古・健道路 第60次発掘調査概報 | 田原本町教育委員会 | 伊予の簡便—近代科学の萌明期一 | 愛媛県歴史文化博物館 |
| 栗東歴史民俗博物館 平成8年度 | 栗東歴史民俗博物館 | 愛媛大学構内道路調査報告Ⅰ | 愛媛大学建設文化財調査室 |
| 大地からのメッセージ—湖南の考古資料展一 | 栗東歴史民俗博物館 | 愛媛大学構内道路調査報告Ⅱ | 愛媛大学建設文化財調査室 |
| 山・里・湖の村づくり—湖南の村落と水利用一 | 栗東歴史民俗博物館 | 愛媛大学構内道路調査報告Ⅲ | 愛媛大学建設文化財調査室 |
| 大宝神社収貯品展 | 栗東歴史民俗博物館 | 桃見遺跡III | 松山市考古館 |
| 1996年度栗東町埋蔵文化財発掘調査成果展 | 栗東歴史民俗博物館紀要 第3号 | 胡日谷2号墳=前期古墳を探る= | 松山市考古館 |
| 栗東歴史民俗博物館 紀要 第3号 | 栗東市立人間文化学部 | 古原道跡 第8-9次調査一 | 松山市教育委員会 |
| 人間文化 第3-3号 | 滋賀県立琵琶湖博物館 | 窓ノ口道跡 II-6-7-8次調査一 | 松山市教育委員会 |
| 琵琶湖博物館展示ガイド | 滋賀県立琵琶湖博物館 | 椚山跡7号墳 | 松山市教育委員会 |
| 博物館ができるまで | 滋賀県立琵琶湖博物館 | 松山市埋蔵文化財調査年報Ⅹ 平成8年度 | 松山市教育委員会 |
| 今森光彦写真展 里山一生の小宇宙 | 滋賀県立琵琶湖博物館 | 赤松中植原遺跡 | 大山町教育委員会 |
| 水田遺跡・下羽田遺跡発掘調査報告書 | 滋賀県八八市市教育委員会 | 陰田第6遺跡(久幸地区) | (財)米子市教育文化事業団 |
| 葛塚川改修間違遺跡発掘調査概要報告書(Ⅹ) | 草津市教育委員会 | 石州府第2酒跡発掘調査報告書 | (財)米子市教育文化事業団 |
| 企画展 西由恵東、栗東歴史民俗博物館 | 能登川町教育委員会 | 米子城跡9遺跡 | (財)米子市教育文化事業団 |
| 能登川町埋蔵文化財調査報告書第41集 | 能登川町教育委員会 | 宗像前田遺跡 | (財)米子市教育文化事業団 |
| 能登川町埋蔵文化財調査報告書第42集 | 長浜市教育委員会 | 石州府第2遺跡発掘調査報告書Ⅱ | (財)米子市教育文化事業団 |
| 大塚遺跡II | 長浜市教育委員会 | 陰田第6遺跡 陰田の谷遺跡第3区・4区 | (財)米子市教育文化事業団 |
| 川崎遺跡II | 長浜市教育委員会 | 原跡遺跡群発掘調査報告書Ⅱ | (財)米子市教育文化事業団 |
| 経田寺遺跡 | 長浜市教育委員会 | 尾高城址 | (財)米子市教育文化事業団 |
| 近江の真宗文化 | 栗東歴史民俗博物館 | 米子市内遺跡発掘調査報告書 | (財)米子市教育文化事業団 |
| 小堀遺跡とその周辺—寛永文化を演出したテクノクラート— | 長浜城歴史博物館 | 弥生時代の土笛作り一平成9年度考古学教室から一 | (財)広島市歴史科学教育事業団 |
| 長浜へいじへへ巡礼～ | 滋賀県立土生考古博物館 | 辰の口古墳 | 広島大学文部省考古研究室 |
| 神戸遺跡発掘調査報告書 | 長浜市教育委員会 | 1995 古代の追葬リシンボシウム | 広島大学文部省考古研究室 |
| 下坂氏鉄鋤 大友家遺跡 下坂中世墓群 | 長浜市教育委員会 | 平成7年度考古学教室記録集 培殖作り体験 | 広島大学文部省考古研究室 |
| 人間文化 第3号 | 滋賀県立人間文化学部 | 平成5年度考古学教室記録集 古代の布づくりと土器づくり体験 | 広島大学文部省考古研究室 |
| 史料有岡頃群(宮が尾古墳)調査報告書 | 首道寺市教育委員会 | 平成5年第2回考古学教室 古代食づくり | 広島大学文部省考古研究室 |
| かがむ今昔—歴史へのいざい— | 香川県教育委員会 | 平成8年度考古学教室記録集 石器づくり | 福山市教育委員会 |
| 水戸徳川家の名宝展、高松市歴史資料館 | 高松市歴史資料館 | 池ノ向製鐵遺跡 | 福山市教育委員会 |
| 歴史博物館整備に伴う収蔵資料目録 | 香川県教育委員会 | 吉成寺遺跡 | 福山市教育委員会 |
| 歴史博物館整備に伴う収蔵資料目録 | 香川県教育委員会 | 尾上遺跡 | 福山市教育委員会 |
| 馬の文化 | 香川県教育委員会 | たら研究 第36-37号 | たたら研究会 |
| 鳴門市埋蔵文化財調査報告書 2 | 香川県教育委員会 | 銀鏡 入船山 第9号 | 吳市入船山記念館 |
| 千山丸と宍島瀬の船 | 香川県立徳島城博物館 | 府中町歴史民俗資料館報 平成8年度 | 府中町立歴史博物館 |
| 岡波瀬古今昔物語 | 徳島市立徳島城博物館 | 医師・津田次郎の自由民運動 | 広島県立歴史博物館 |
| 豊臣秀吉と阿波・峰須賀家 | 徳島市立徳島城博物館 | 難国民衆と中国地方 | 下関市立長府博物館 |
| おもしろ古文書の世界—阿波文書の語る歴史一 | 徳島市立徳島城博物館 | 802 坡下町長府の文化 長府博物館50年の歩み | 下関市立長府博物館 |
| 徳島県立徳島城博物館年報 第5号 平成8年度 | 徳島市立徳島城博物館 | 803 五十年史 | (財)山口県道祖連遺跡 |
| 鳥居龍藏の見方シア | 徳島県立博物館 | 804 トルコの染料・キリム | 下関市立美術館 |
| 戦争から豊かな未来へ | 徳島県立博物館 | 805 市美展50年の歩み | 下関市立美術館 |
| 東洲斎写楽・芥子翁の世界 | 徳島県立博物館 | 806 下関美術館収蔵品目録 II | 下関市立美術館 |
| 描かれた弥生人のくらし | 徳島県立博物館 | 807 美作市化石館一展示室案内一 | 美作市化石館 |
| 祖谷一その自然とくらし | 徳島県立博物館 | 808 下関市立美術館年報 平成5-6年度 | 下関市立美術館 |
| キアーデータルール人の復活 | 徳島県立博物館 | 809 山口県史耕漁会旗演録 1992-1996 | 山口県農生活史料館さん室 |
| 阿波の近代化西一西境をさきたぬ用意時たち一 | 徳島県立博物館 | 810 山口県史研究 第5号 | 山口県農生活史料館さん室 |
| 目でみる博物学—華麗なる博物画の世界一 | 徳島県立博物館 | 811 美祢市歴史民俗資料館調査研究報告 第13号 | 美祢市歴史民俗博物館 |
| 人形芝居がやってきた | 徳島県立博物館 | 812 日本のはきもの展 | 小野田市歴史民俗資料館 |
| 徳島県立博物館研究報告 第3号 1993年5月 | 徳島県立博物館 | 813 BAIKO MUSE 博物館学過程・附属資料館活動報告10 | 橋光女子学院大学 |
| 徳島県立博物館研究報告 第4号 1994年9月 | 徳島県立博物館 | 814 山口県立山口博物館館報20 | 山口県立山口博物館 |
| 徳島県立博物館研究報告 第5号 1995年12月 | 徳島県立博物館 | 815 桜島遺跡 | 山口県教育委員会 |
| 徳島県立博物館研究報告 第6号 1996年9月 | 徳島県立博物館 | 816 冷泉宗北遺跡 | 山口県教育委員会 |
| 徳島県立博物館研究報告 第7号 1997年9月 | 徳島県立博物館 | 817 東根遺跡・黒山遺跡II | 山口県立教育委員会 |
| 徳島県博物館紀要 第19集 | 徳島県立博物館 | 818 山口県立山口博物館研究報告 第23集 | 山口県立山口博物館 |
| 徳島県博物館紀要 第20集 | 徳島県立博物館 | 819 仰臥遺跡 | 下関市教育委員会 |
| 阿波の刀剣 | 徳島県立博物館 | 820 鹿と毛利の遺産 | 徳山市美術博物館 |
| 徳島の指定文化財 | 徳島県立博物館 | 821 山口県立美術館研究紀要 第1号 1996年度 | 山口県立美術館 |
| 徳島県立博物館 総合案内 | 徳島県立博物館 | 822 四山遺跡 | 阿知須町教育委員会 |
| 祈りのいろいろ | 徳島県立博物館 | 823 須恵・神正遺跡 | 阿知須町教育委員会 |
| 吉野川の自然 | 徳島県立博物館 | 824 名井玲 西堀 | 名井静子 |
| 徳島県立博物館年報 第1号(平成2-3年度) | 徳島県立博物館 | 825 萩市郷土博物館研究報告 第8号 | 萩市郷土博物館 |
| 徳島県立博物館年報 第2号(平成4年度) | 徳島県立博物館 | 826 山口市内遺跡群細分分布調査(吉敷・湯田地区) | 山口市教育委員会 |
| 徳島県立博物館年報 第3号(平成5年度) | 徳島県立博物館 | 827 赤妻古墳 | 山口市教育委員会 |
| 徳島県立博物館年報 第4号(平成6年度) | 徳島県立博物館 | 828 有木遺跡発掘調査報告書 | 出雲玉作資料館 |
| 徳島県立博物館年報 第5号(平成7年度) | 徳島県立博物館 | 829 丸山城址 | 川木町教育委員会 |
| 徳島県立博物館年報 第6号(平成8年度) | 徳島県立博物館 | 830 古代出雲文化展 | 古代出雲文化振興会議員会事務局 |
| 徳島県立博物館年報 第7号(平成9年度) | 徳島県立博物館 | 831 ひろげ遺跡 | 大社市教育委員会 |
| 徳島県立博物館年報 第8号(平成10年度) | 徳島県立博物館 | 832 本庄川流域榮里遺跡 | 島根県教育委員会 |
| 徳島県立博物館研究報告 第1号 1991年3月 | 徳島県立博物館 | 833 長久志遺跡・飯田C遺跡・古八幡付近遺跡 | 島根県教育委員会 |
| 徳島県立博物館研究報告 第2号 1992年3月 | 徳島県立博物館 | 834 松木古墳群・大角山古墳群・すべりざ古墳群 | 島根県教育委員会 |
| 徳島県立博物館 紹介解説 第1集 | 徳島県立博物館 | 835 指安遺跡・般瀬山毛宅前・谷川遺跡 | 島根県教育委員会 |
| 博物館へいこう 展示解説 第2集 | 徳島県立博物館 | 836 泉山池遺跡・原ノ前遺跡 | 島根県教育委員会 |
| 辰砂生産遺跡の調査—徳島県阿南市若杉山遺跡一 | 徳島県立博物館 | 837 布志名大谷II遺跡・布志名大谷II遺跡・布志名才の神遺跡 | 島根県教育委員会 |
| 忌部山古墳群 | 徳島県立博物館 | 838 岸尾山古墳群 | 島根県教育委員会 |
| 銅鐸の美 | 徳島県立博物館 | 839 加茂岩倉遺跡 | 島根県教育委員会 |
| 高松市歴史資料館年報 平成8年度 | 高松市歴史資料館 | 840 加茂岩倉遺跡発掘調査報告1 | 加茂町教育委員会 |
| 高松市歴史資料館収載資料目録 | 高松市歴史資料館 | | |

| | 書名 | 寄贈者 |
|-----|----------------------------|-----------------|
| 841 | 吉野口遺跡 | 岡山市教育委員会 |
| 842 | 南方前治遺跡－縄文時代木の実貯蔵穴の発掘－ | 山陽町教育委員会 |
| 843 | 服部寺 | 長船町教育委員会 |
| 844 | 水見居遺跡 | 津山市教育委員会 |
| 845 | 年報 津山弥生の里 第4号 | 津山市教育委員会 |
| 846 | 日上天王山古墳 | 津山市教育委員会 |
| 847 | 西吉田北遺跡 | 津山市教育委員会 |
| 848 | 有本古墳群 | 津山市教育委員会 |
| 849 | 岡山市埋蔵文化財調査の概要 1995年度 | 岡山市教育委員会 |
| 850 | 松本市埋蔵文化財調査年報7(平成8年度) | 松本市教育委員会 |
| 851 | 海と大地と空、ニユートンの創造 | 笠岡市議会 |
| 852 | 平成9年 笠岡市の教育 | 笠岡市教育委員会 |
| 853 | 吉備 大地からのメッセージ | 岡山県古代文化財センター |
| 854 | 発掘された久田の埋蔵文化財！～よみがえる久田の歴史～ | 岡山県古代文化財センター |
| 855 | 今、よみがえる古代 | 岡山大学埋蔵文化財調査センター |
| 856 | 岡山大学構内遺跡調査研究年報14 1996年度 | 岡山大学埋蔵文化財調査センター |
| 857 | 津島岡山古跡路 9 一第14次調査－ | 岡山大学埋蔵文化財調査センター |
| 858 | 西新開遺跡 | 大川市教育委員会 |
| 859 | 郷原北遺跡 | 大川市教育委員会 |
| 860 | 立原敷削跡(第3次) | 水巻町教育委員会 |
| 861 | 方ヶ島遺跡 | 志免町教育委員会 |
| 862 | 瓜尾・梅ヶ内古墳群 | 新宮町教育委員会 |
| 863 | 大森古墳群 | 新宮町教育委員会 |
| 864 | 九州歴史大学講座 第79号 | 九州歴史大学講座事務局 |
| 865 | 久留米市文化財評議 1994 | 久留米市教育委員会 |
| 866 | 水巻遺跡群 | 直方市教育委員会 |
| 867 | 北九州市立考古博物館 研究紀要4 | 北九州市立考古博物館 |
| 868 | 北九州市立考古博物館年報 平成8年度 | 北九州市立考古博物館 |
| 869 | 福岡市の博物館 | 宗像大社 |
| 870 | 改訂版福岡県の博物館 | 宗像大社 |
| 871 | 宗像大社 | 宗像大社 |
| 872 | 海の正倉院京像沖ノ島神宝 | 宗像大社 |
| 873 | 石勺遺跡Ⅰ-H地点の調査－ | 大野城市教育委員会 |
| 874 | 石勺遺跡Ⅱ-G地点の調査－ | 大野城市教育委員会 |
| 875 | 御陵前山古跡遺跡 | 大野城市教育委員会 |
| 876 | 牛頭石坂塚跡-E地点- | 大野城市教育委員会 |
| 877 | ミュージアム九州 第55号 | 博多祇園祭調査推進九州会議 |
| 878 | 歴史九州 第7巻 第7号 | 九州歴史大学講座事務局 |
| 879 | 神道遺跡 第16次調査 | 久留米市教育委員会 |
| 880 | 呉服町遺跡 | 久留米市教育委員会 |
| 881 | 不光院遺跡 | 久留米市教育委員会 |
| 882 | 二本松遺跡 第10次調査 | 久留米市教育委員会 |
| 883 | 白口西屋敷遺跡 | 久留米市教育委員会 |
| 884 | 安国寺遺跡 第5次調査 | 久留米市教育委員会 |
| 885 | 道戸遺跡Ⅱ | 久留米市教育委員会 |
| 886 | 平成7年度 久留米市内遺跡群 | 久留米市教育委員会 |
| 887 | 上津・麻光遺跡群Ⅱ | 久留米市教育委員会 |
| 888 | 大音寺北部地区遺跡群V | 久留米市教育委員会 |
| 889 | 筑後田古跡 | 久留米市教育委員会 |
| 890 | 安武地区遺跡群X | 久留米市教育委員会 |
| 891 | ヘボン木遺跡 平成6年度発掘調査概要 | 久留米市教育委員会 |
| 892 | 津守寺山遺跡 | 久留米市教育委員会 |
| 893 | 城崎遺跡 第2次調査 | 久留米市教育委員会 |
| 894 | 日出原南遺跡 第2次調査 | 久留米市教育委員会 |
| 895 | 筑後田古跡 第140次調査 | 久留米市教育委員会 |
| 896 | ヘボン木遺跡 第62次調査 | 久留米市教育委員会 |
| 897 | ヘボン木遺跡 第63次調査 | 久留米市教育委員会 |
| 898 | 久留米城下町 魚屋町遺跡 第1・2次調査 | 久留米市教育委員会 |
| 899 | 久留米城外郭跡 第2次調査 松田宗星監修 | 久留米市教育委員会 |
| 900 | 平成8年度 ヘボン木遺跡 | 久留米市教育委員会 |
| 901 | 筑後田古跡 平成8年度発掘調査概要 | 久留米市教育委員会 |
| 902 | 平成8年度 久留米市内遺跡群 | 久留米市教育委員会 |
| 903 | 安武地区遺跡群X Ⅰ | 久留米市教育委員会 |
| 904 | 大音寺北部地区遺跡群VI | 久留米市教育委員会 |
| 905 | 上津・藤光遺跡群III | 久留米市教育委員会 |
| 906 | 西行古墳群 | 久留米市教育委員会 |
| 907 | 小倉塙跡 III | 北九州市教育委員会 |
| 908 | 能行遺跡 | 北九州市教育委員会 |
| 909 | 沢東古跡・第V地区 | 北九州市教育委員会 |
| 910 | 中遺跡群IV | 若宮町教育委員会 |
| 911 | 弥生の物語工房とその世界 | 北九州市立考古博物館 |
| 912 | 椿市廐寺 II | 行橋市教育委員会 |
| 913 | 福丸古墳群 | 行橋市教育委員会 |
| 914 | ミュージアム九州 第56号 | 博物館等建設推進九州会議 |
| 915 | ミュージアム九州 第57号 | 博物館等建設推進九州会議 |
| 916 | 玉塙装飾古墳館年報2 平成8年度 | 玉塙装飾古墳館 |
| 917 | 玉塙装飾古墳館年報(創刊号) | 玉塙装飾古墳館 |
| 918 | 西替町遺跡 | 久留米市教育委員会 |
| 919 | 村山西遺跡2 II区 | (財)北九州市教育文化事業団 |
| 920 | 水丸丸遺跡群I | (財)北九州市教育文化事業団 |
| 921 | 鶴見土佐地区区画整理事業関係調査報告10 | (財)北九州市教育文化事業団 |
| 922 | 金丸遺跡I | (財)北九州市教育文化事業団 |
| 923 | 社ノ木遺跡 | (財)北九州市教育文化事業団 |
| 924 | 大槻前田遺跡 | (財)北九州市教育文化事業団 |
| 925 | 片伊田遺跡2 | (財)北九州市教育文化事業団 |

| | 書名 | 寄贈者 |
|------|-----------------------------|----------------|
| 926 | 高柳遺跡 第8地点 | (財)北九州市教育文化事業団 |
| 927 | 小倉城址3 | (財)北九州市教育文化事業団 |
| 928 | 潤崎遺跡5 | (財)北九州市教育文化事業団 |
| 929 | 片伊田遺跡3 | (財)北九州市教育文化事業団 |
| 930 | 高野遺跡 | (財)北九州市教育文化事業団 |
| 931 | 屏賀坂遺跡 | (財)北九州市教育文化事業団 |
| 932 | 森山西遺跡 I 区 | (財)北九州市教育文化事業団 |
| 933 | 埋蔵文化財調査年報13 | 北九州市教育文化事業団 |
| 934 | 研究紀要-第11号- | 北九州市教育文化事業団 |
| 935 | 九州歴史資料館年報 平成8年度 | 九州歴史資料館 |
| 936 | 九州歴史資料館 研究報告22 | 九州歴史資料館 |
| 937 | 太宰府史跡 | 太宰府市教育委員会 |
| 938 | 西南学院大学 国恩文化講座 第12巻 第1号 | 西南学院大学学術研究所 |
| 939 | 筑前分寺跡 I | 太宰府市教育委員会 |
| 940 | 辻遺跡 | 太宰府市教育委員会 |
| 941 | 宝満山遺跡群 II | 太宰府市教育委員会 |
| 942 | 太宰府・佐野地区遺跡群 VII | 太宰府市教育委員会 |
| 943 | 太宰府史跡 | 太宰府市教育委員会 |
| 944 | 海跡の考古学 | 日本海跡フォーラム実行委員会 |
| 945 | 埋蔵文化財調査報告書2 | 小郡市埋蔵文化財センター |
| 946 | 井上南内原遺跡 | 小郡市埋蔵文化財センター |
| 947 | 刈又地区遺跡群IV | 小郡市埋蔵文化財センター |
| 948 | 小坂井京塚遺跡2 | 小郡市埋蔵文化財センター |
| 949 | 刈又地区遺跡群II | 小郡市埋蔵文化財センター |
| 950 | 小郡中尾遺跡2 | 小郡市埋蔵文化財センター |
| 951 | 西島遺跡5 | 小郡市埋蔵文化財センター |
| 952 | 福島山の上遺跡3 | 小郡市埋蔵文化財センター |
| 953 | 埋蔵文化財調査報告書1 | 小郡市埋蔵文化財センター |
| 954 | 三沢寺小路遺跡 | 小郡市埋蔵文化財センター |
| 955 | 牛潟城山遺跡II | 小郡市埋蔵文化財センター |
| 956 | ミュージアム九州 第58号 | 博物館建設推進九州会議 |
| 957 | 須多田古墳群 | 津屋崎町教育委員会 |
| 958 | 川原川右岸地区遺跡群I | 前原市教育委員会 |
| 959 | 萩浦一古墳群一 | 前原市教育委員会 |
| 960 | 平原周辺遺跡(7) | 前原市教育委員会 |
| 961 | 三雲・井原遺跡群調査概要(1) | 前原市教育委員会 |
| 962 | 三雲・井原遺跡群 I | 前原市教育委員会 |
| 963 | 平原周辺遺跡(6) | 前原市教育委員会 |
| 964 | 西堂・井原の文化財 | 前原市教育委員会 |
| 965 | 再見!东高の博物館！ 古墳時代編 | 前原市立伊都歴史資料館 |
| 966 | 上鏡子遺跡 みえてきた伊都因人のくらし | 前原市教育委員会 |
| 967 | 平成6(1994)年度収集 収藏品目録 | 福岡市博物館 |
| 968 | 福岡市埋蔵文化財センター年報 第16号 | 福岡市教育委員会 |
| 969 | 馬苦勞遺跡 | 豊津町教育委員会 |
| 970 | 福岡市博物館年報4 1997 | 福岡市博物館 |
| 971 | 福岡市博物館研究紀要 第7号 | 福岡市博物館 |
| 972 | 年報 No.27 | 佐賀県立博物館 |
| 973 | 院田西分遺跡 | 千代田町教育委員会 |
| 974 | 千々賀古墳遺跡2 | 唐津市教育委員会 |
| 975 | 佐志中通遺跡 | 唐津市教育委員会 |
| 976 | 八幡窟第2号跡(1) | 唐津市教育委員会 |
| 977 | 唐津市内遺跡確認調査(12) | 唐津市教育委員会 |
| 978 | 唐ノ川遺跡群 | 唐津市教育委員会 |
| 979 | 管牟田西山遺跡 山田川六遺跡 | 唐津市教育委員会 |
| 980 | 池上二本松遺跡 | 大和町教育委員会 |
| 981 | 佐保遺跡A,B,C区池上二本松B遺跡 | 大和町教育委員会 |
| 982 | 肥前田古分寺跡 | 大和町教育委員会 |
| 983 | 大和町内遺跡確認調査 | 大和町教育委員会 |
| 984 | 北畠遺跡 | 大和町教育委員会 |
| 985 | 小川遺跡－第3次調査－ | 大和町教育委員会 |
| 986 | 平成4年度大和町内遺跡確認調査報告書 | 大和町教育委員会 |
| 987 | 久地井遺跡 | 大和町教育委員会 |
| 988 | 一本木遺跡 | 大和町教育委員会 |
| 989 | 鍵尼遺跡 | 大和町教育委員会 |
| 990 | 小川遺跡 | 大和町教育委員会 |
| 991 | 久池井二本松遺跡 北原遺跡 | 大和町教育委員会 |
| 992 | No.27 氏家行跡跡 | 鎮西町教育委員会 |
| 993 | 武雄市内古窯跡群発掘調査報告書IV | 武雄市教育委員会 |
| 994 | 東千布遺跡III | 佐賀市教育委員会 |
| 995 | 金立遺跡 I | 佐賀市教育委員会 |
| 996 | 西千布遺跡・友貞遺跡 | 佐賀市教育委員会 |
| 997 | 下和良一本椎遺跡II | 佐賀市教育委員会 |
| 998 | 妙常寺北遺跡・妙常寺南遺跡 | 佐賀市教育委員会 |
| 999 | 牟田窑遺跡IV | 佐賀市教育委員会 |
| 1000 | 牟田窑遺跡V | 佐賀市教育委員会 |
| 1001 | 佐賀市埋蔵文化財調査報告書－1992年度－ | 佐賀市教育委員会 |
| 1002 | 野田遺跡 | 佐賀市教育委員会 |
| 1003 | 東高木遺跡II | 佐賀市教育委員会 |
| 1004 | 徳永遺跡I区 | 佐賀市教育委員会 |
| 1005 | ザ・発見「伊万里の原始から中世まで」 | 伊万里市歴史民俗資料館 |
| 1006 | 篠町遺跡 | 長崎市教育委員会 |
| 1007 | 九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書 | 長崎県教育委員会 |
| 1008 | 九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書 | 長崎県教育委員会 |
| 1009 | 九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書 | 長崎県教育委員会 |
| 1010 | 殿町遺跡 | 長崎県教育委員会 |

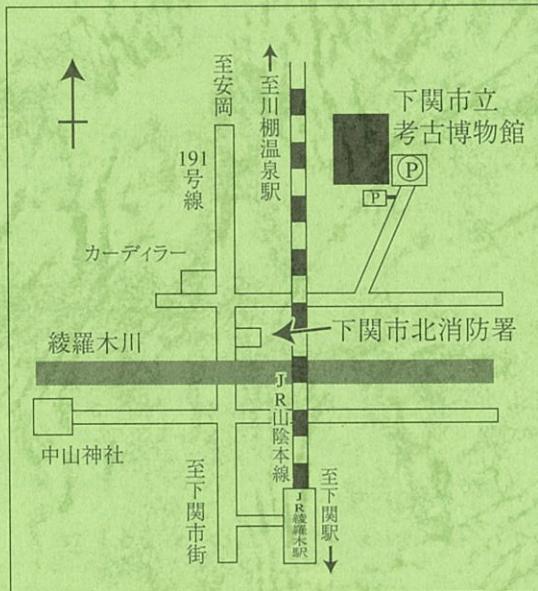
| | 書名 | 寄贈者 | | 書名 | 寄贈者 |
|------|--|----------------|------|--------------------|----------------|
| 1011 | 柿泊遺跡 | 勝本町教育委員会 | 1096 | 神野牧遺跡 | 鹿児島県立埋蔵文化財センター |
| 1012 | 勝本町の口説伝承 | 勝本町教育委員会 | 1097 | 本山内遺跡Ⅲ | 鹿児島県立埋蔵文化財センター |
| 1013 | 勝本町の文化財 | 勝本町教育委員会 | 1098 | 詫谷村立歴史民俗博物館紀要第21号 | 詫谷村立歴史民俗資料館 |
| 1014 | 串山ミルメ浦遺跡－第1次調査－ | 勝本町教育委員会 | 1099 | 詫谷村立歴史民俗資料館 年報第21号 | 詫谷村立歴史民俗博物館 |
| 1015 | 片苗シロ道跡 | 勝本町教育委員会 | 1100 | 沖縄県立博物館年報 No.30 | 沖縄県立博物館 |
| 1016 | カラカミ遺跡 | 勝本町教育委員会 | 1101 | 沖縄県立博物館紀要 第23号 | 沖縄県立博物館 |
| 1017 | 串山ミルメ浦遺跡－第2次調査－ | 勝本町教育委員会 | 1102 | 豪星植物博物館 常設展ガイドブック | 豪星植物博物館 |
| 1018 | 串山ミルメ浦遺跡－第3次調査－ | 勝本町教育委員会 | 1103 | 那霸市の文化財 平成8年度 | 那霸市教育委員会 |
| 1019 | 黒丸遺跡ほか発掘調査概要 1 | 長崎県大村市教育委員会 | | | |
| 1020 | 興善寺道跡 | 長崎県埋蔵文化財調査協議会 | | | |
| 1021 | 再見!糸高の博物館 | 前原市立伊都歴史資料館 | | | |
| 1022 | 六田遺跡・前田遺跡 秋国遺跡・外園遺跡 | 国東町教育委員会 | | | |
| 1023 | 川原条里遺跡 | 国東町教育委員会 | | | |
| 1024 | 千疋遺跡 | 国東町教育委員会 | | | |
| 1025 | 楊弓遺跡 | 国東町教育委員会 | | | |
| 1026 | 由井ヶ迫遺跡 | 国東町教育委員会 | | | |
| 1027 | 県営圃場整備工事川南地区関係発掘調査報告書 | 国東町教育委員会 | | | |
| 1028 | 宇佐地区遺跡群発掘調査報告 曲 X | 宇佐市教育委員会 | | | |
| 1029 | 下野遺跡 上津尾遺跡 | 大洞町教育委員会 | | | |
| 1030 | 企画展 王名郡歴 | 玉名市立歴史博物館こころビア | | | |
| 1031 | 大分県埋蔵文化財年報5 平成7年度版 | 大分県教育委員会 | | | |
| 1032 | 小迫墳墓群 | 大分県教育委員会 | | | |
| 1033 | 堂園遺跡・原田遺跡・岩塚古墳・玖珠SA地区遺跡群・谷ノ瀬遺跡 | 大分県教育委員会 | | | |
| 1034 | 白田条里遺跡群・佐吉横穴遺跡群・大迫遺跡・白岩遺跡・下綾切遺跡 | 大分県教育委員会 | | | |
| 1035 | 松木遺跡 | 大分県教育委員会 | | | |
| 1036 | 古城山 | 大分県教育委員会 | | | |
| 1037 | 三和牧田遺跡C地点 | 大分県教育委員会 | | | |
| 1038 | 下原遺跡 | 大分県教育委員会 | | | |
| 1039 | 横堀第2遺跡・久原第2遺跡 | 大分県教育委員会 | | | |
| 1040 | 大恩寺遺跡 | 大分県教育委員会 | | | |
| 1041 | ガランジ遺跡・植田市遺跡・植田奈良遺跡 | 大分県教育委員会 | | | |
| 1042 | 牟礼越遺跡 | 別府大学附属博物館 | | | |
| 1043 | 宮地前遺跡 | 別府大学附属博物館 | | | |
| 1044 | 鷹方古屋遺跡 第2次・第3次発掘調査報告書 | 別府大学附属博物館 | | | |
| 1045 | 鷹方古屋遺跡 発掘調査報告書 | 別府大学附属博物館 | | | |
| 1046 | 大分県上下田遺跡 第2次発掘調査報告書 | 別府大学附属博物館 | | | |
| 1047 | 政所馬渡 | 別府大学附属博物館 | | | |
| 1048 | 大分県旧石器時代遺跡分布図 1986 | 別府大学附属博物館 | | | |
| 1049 | 松山遺跡 | 別府大学附属博物館 | | | |
| 1050 | 松山遺跡 第2次発掘調査 | 別府大学附属博物館 | | | |
| 1051 | 国東の鬼会面 | 別府大学附属博物館 | | | |
| 1052 | 別府大学附属博物館展示資料図録1995 | 別府大学附属博物館 | | | |
| 1053 | アジア猿の起源と種作図の構造 | 別府大学附属博物館 | | | |
| 1054 | 飯田二反田遺跡 | 大分県教育委員会 | | | |
| 1055 | 種田市遺跡 | 大分県教育委員会 | | | |
| 1056 | 大在古墳・浜道路 第2地点 | 大分県教育委員会 | | | |
| 1057 | 横山遺跡・尼崎遺跡 | 大分県教育委員会 | | | |
| 1058 | 宇佐別府道路・日出ジャングション関係埋蔵文化財調査報告書 | 大分県教育委員会 | | | |
| 1059 | 熊本大学埋蔵文化財調査室年報 3 | 熊本大学埋蔵文化財調査室 | | | |
| 1060 | 玉名市立歴史博物館こころビア年報 No.1 | 玉名市立歴史博物館こころビア | | | |
| 1061 | 玉名市立歴史博物館紀要 第2号 | 玉名市立歴史博物館こころビア | | | |
| 1062 | 川辺港 | 玉名市立歴史博物館こころビア | | | |
| 1063 | 第4回家湖展 | 玉名市立歴史博物館こころビア | | | |
| 1064 | はにわの考古学 | 熊本県立装飾古墳館 | | | |
| 1065 | 歴生人の祈り 免田式土器の謎 | 熊本県立装飾古墳館 | | | |
| 1066 | 器は語る 須恵器の美と技 | 熊本県立装飾古墳館 | | | |
| 1067 | 縄文人の暮らし風景 黒橋貝塚発掘展 | 熊本県立装飾古墳館 | | | |
| 1068 | 装飾古墳—よみがえる古代・装飾古墳の世界— | 熊本県立装飾古墳館 | | | |
| 1069 | 福岡県の装飾古墳 | 熊本県立装飾古墳館 | | | |
| 1070 | 縄土の刀劍・同田賛 | 玉名市立歴史博物館こころビア | | | |
| 1071 | 熊本博物館館報 No.9 1997 | 熊本博物館 | | | |
| 1072 | 熊本市埋蔵文化財調査年報 第1号 | 熊本市教育委員会 | | | |
| 1073 | 熊本市埋蔵文化財発掘調査報告書－平成9年度－ | 熊本市教育委員会 | | | |
| 1074 | 平成8年度 西都原古墳研究所・年報 第13号 | 西都原市教育委員会 | | | |
| 1075 | 平成8年度 日南市内遺跡発掘調査報告概報 | 日南市教育委員会 | | | |
| 1076 | 影平遺跡 | 日南市教育委員会 | | | |
| 1077 | 第30集 日南市文化財調査資料集 | 日南市教育委員会 | | | |
| 1078 | 第18集 日南市文化財調査資料集 | 日南市教育委員会 | | | |
| 1079 | 車坂・山下遺跡群 車坂第1・2・3遺跡 山下第1・2・3遺跡 | 宮崎市教育委員会 | | | |
| 1080 | 市内遺跡発掘調査概要報告書 II | 西都市教育委員会 | | | |
| 1081 | 雷野遺跡 | 西都市教育委員会 | | | |
| 1082 | 西都原古墳群研究資料 | 西都原古代生活体験館 | | | |
| 1083 | 海からの贈り物—南の島々のくらしと儀礼— | みやざき歴史文化館 | | | |
| 1084 | 市榮遺跡・老神遺跡 | 出水市教育委員会 | | | |
| 1085 | 鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報11 | 鹿児島大学埋蔵文化財調査室 | | | |
| 1086 | 川内市歴史資料館年報 | 川内市歴史資料館 | | | |
| 1087 | 川内市歴史資料館資料目録11 | 川内市歴史資料館 | | | |
| 1088 | 鳥越古墳群 大藏庵遺跡・北山遺跡 | 阿久根市教育委員会 | | | |
| 1089 | 上野遺跡・かね野遺跡・大久野遺跡・豊原遺跡・豊原C遺跡・須山遺跡・星野・須山遺跡 | 出水市教育委員会 | | | |
| 1090 | 昆虫のふしぎな世界～郷土の昆虫と世界の珍虫～ | 川内市歴史資料館 | | | |
| 1091 | 笠利町立歴史民俗資料館館報14 | 笠利町立歴史民俗資料館 | | | |
| 1092 | 宇宿貝塚出土人骨塚 | 笠利町教育委員会 | | | |
| 1093 | 暮らしの中の庭園 | 指宿市考古博物館 | | | |
| 1094 | 橋牟礼川遺跡 VI (城郭) | 指宿市考古博物館 | | | |
| 1095 | 指宿の歴史と文化財 | 指宿市考古博物館 | | | |

利用ご案内

開館時間 午前9時30分から午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日
12月28～1月4日

入館料 一般 200円(160円)
高・大学生 100円(80円)
小・中学生 50円(40円)
※()内は30名以上の団体料金



下関市立考古博物館年報 3 — 平成9年度 —

発行日 1998年3月31日
編集発行 下関市立考古博物館
〒751-0866 山口県下関市大字綾羅木字岡454
TEL 0832-54-3061
FAX兼 0832-54-3062
印刷 有限会社アカマ印刷

